

2023（令和 5）年度
事業報告書

（2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで）

学校法人 関西外国語大学

目次

I. 学校法人の概要

1. 建学の理念・精神	P1
2. 沿革	P3
3. 設置学校等	P4
4. 法人・大学事務組織機構図	P5
5. 役員及び教職員に関する情報	P6
6. 学部・学科等の入学定員、学生数の状況	P7
7. 文部科学省経常費補助金交付額の推移	P8

II. 事業の概要

1. 当該年度の主な事業計画およびその進捗状況	P9
2. 教育研究の概要	P23
3. 管理運営の概要	P33
4. その他特色のある取組の概要	P36

III. 財務の概要

1. 財産目録	P42
2. 貸借対照表	P43
3. 収支計算書	P45
4. 財務比率の推移	P48

I. 学校法人の概要

1. 建学の理念・精神

Mission【建学の理念】

「国際社会に貢献する豊かな教養を備えた人材の育成」

「公正な世界観に基づき、時代と社会の要請に応えていく実学」

本学の歴史は、第二次大戦が終結した直後の1945（昭20）年11月、大阪市東住吉区に創立された谷本英学院に始まる。

創立者は、戦後日本の復興と国際社会への復帰を「外国語教育」に託した。その思いは、国際人の育成と実学重視を謳う「建学の理念」に結実し、本学の過去、現在、未来をつなぐ行動原理となっている。

< 外大ビジョン・6つの柱 >

- 国際通用力を保証する言語教育の実践拠点
- 高度な専門職業人育成へのアプローチ
- 国際人にふさわしい人間力の涵養と、全人教育の推進
- 「キャンパスは“ちきゅう”」—— 学びのフィールドを広げ、深める
- 地域はパートナー —— 「グローカリズム」の実践
- 大学力の強化と充実 —— 力強い未来のために

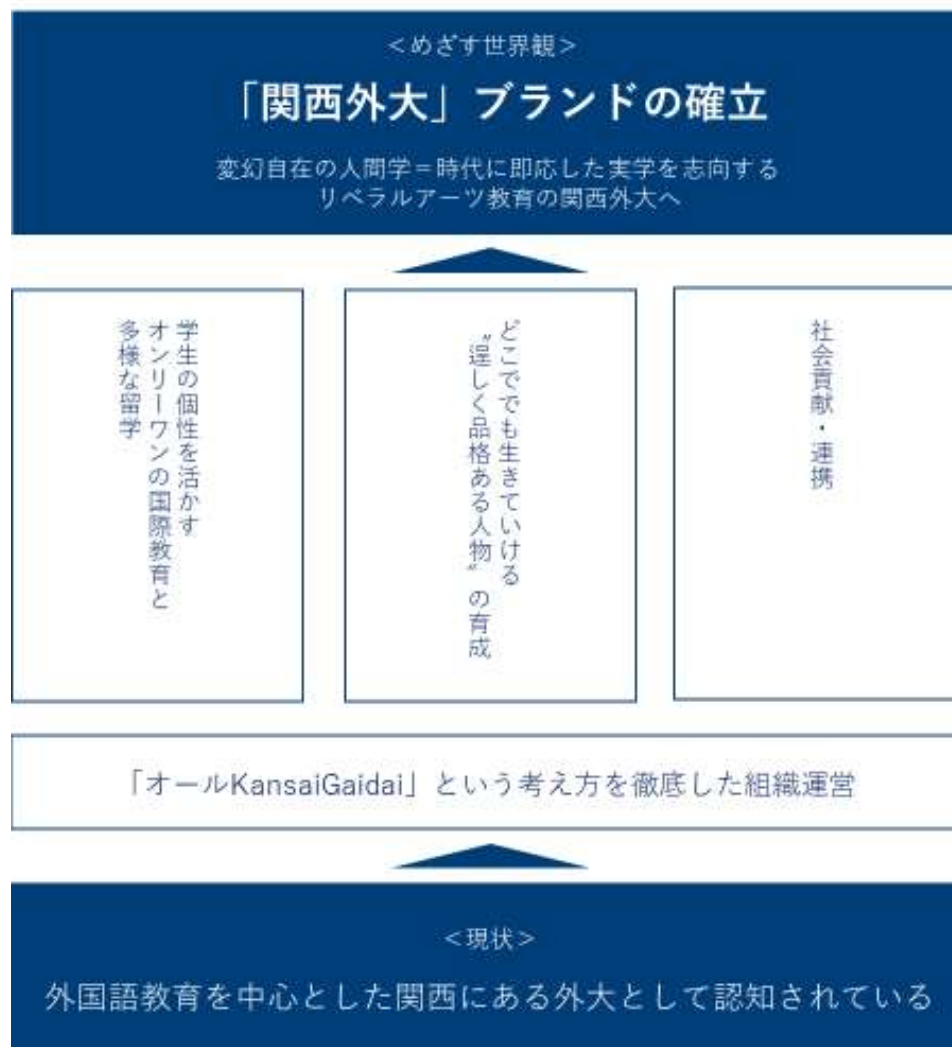
< 関西外大行動憲章 >

- | | |
|-------------|---|
| ・ 学の研鑽 | わたしたちは、専門の語学、言語はもとより、多様な学問分野において常に研鑽を積み、知識基盤社会の構築、発展に寄与します。 |
| ・ 国際人としての自覚 | わたしたちは、地球社会の一員であることを常に自覚し、異なる文化の尊重と共存、相互理解を推進します。 |
| ・ 国際貢献 | わたしたちは、国際社会の平和と安全、繁栄と共生に向け、地球規模の課題克服に取り組みます。 |

- ・ 人間力の涵養 わたしたちは、個としての健全なる自我の確立とともに、社会的存在として全人的な資質の向上を図ります。
- ・ 地域参画 わたしたちは、自らの知識や能力、ならびに大学の教育資源を生かし、拠って立つ地域の文化的、教育的発展に貢献します。

【 将来に向けてのビジョン 】

○ 関西外国語大学 ビジョン・中期計画 2019



2. 沿 革

1945(昭 20)年	谷本英学院創設
1947(昭 22)年	関西外国語学校設置
1953(昭 28)年	関西外国語短期大学設置 設置者 学校法人万代学園(大阪府大阪市住吉区万代 3 丁目 6 の 34)
1960(昭 35)年	短期大学米英語科第二部設置
1963(昭 38)年	学校法人関西外国語学園に法人名称変更
1966(昭 41)年	関西外国語大学外国語学部設置 法人本部位置変更(大阪府枚方市小倉 333)
1972(昭 47)年	国際文化研究所設置
1973(昭 48)年	関西外国語大学大学院外国語学研究科(修士課程)設置
1975(昭 50)年	短期大学第二米英語学科第一部設置
1976(昭 51)年	留学生別科設置 関西外国語大学大学院外国語学研究科(修士課程)言語文化専攻増設
1977(昭 52)年	関西外大ハワイ校を開設
1979(昭 54)年	関西外国語大学大学院外国語学研究科(博士課程後期)設置
1980(昭 55)年	関西外大ハワイカレッジ開校
1984(昭 59)年	短期大学第二米英語学科の位置変更、穂谷学舎開く
1986(昭 61)年	関西外大ニューイアラ整備計画発足
1992(平 4)年	学校法人関西外国語大学に法人名称変更 関西外国語短期大学を関西外国語大学短期大学部に名称変更 短期大学部学科名称変更 米英語学科を英米語学科へ 第二米英語学科第一部を米英語学科第一部へ 第二米英語学科第二部を米英語学科第二部へ
1994(平 6)年	人権教育思想研究所設置
1996(平 8)年	国際言語学部国際言語コミュニケーション学科設置
1998(平 10)年	関西外大ハワイカレッジをトランスパシフィック・ハワイカレッジに名称変更
1999(平 11)年	短期大学部英米語学科昼夜開講制導入 米英語学科第二部を募集停止
2000(平 12)年	短期大学部米英語学科を国際コミュニケーション学科に名称変更
2002(平 14)年	中宮学舎開く。法人事務所所在地、大学、短期大学部、大学院の位置変更 (大阪府枚方市中宮東之町 16 番 1 号)
2003(平 15)年	教職英語教育センター設置
2005(平 17)年	短期大学部英米語学科夜間主コースの学生募集停止
2006(平 18)年	中国交流センター設置 (2010 年に廃止)
2007(平 19)年	谷本貞人学長が退任し、谷本義高大学学長・谷本榮子短期大学部学長が就任
2008(平 20)年	短期大学部国際コミュニケーション学科を募集停止 谷本貞人理事長が退任し、谷本榮子理事長が就任 トランスパシフィック・ハワイカレッジ閉校

2009(平 21)年	中長期ビジョン「関西外国語大学ルネサンス 2009」を策定 関西外国語大学孔子学院設立
2010(平 22)年	短期大学部国際コミュニケーション学科廃止 アジア・太平洋交流センターを設置（中国交流センターを廃止・統合） イベロアメリカ研究センターを設置
2011(平 23)年	英語キャリア学部英語キャリア学科設置
2013(平 25)年	英語キャリア学部英語キャリア学科に「小学校教員コース」設置 穂谷キャンパスを「学研都市キャンパス」に名称変更 アジア・太平洋交流センターを廃止（国際交流部に業務移管）
2014(平 26)年	英語国際学部を設置（国際言語学部の改組転換） 国際言語学部の学生募集停止
2015(平 27)年	70 周年記念事業の一環として御殿山キャンパス・グローバルタウン用地取得
2018(平 30)年	3 月、御殿山キャンパス・グローバルタウン竣工 英語国際学部移転 4 月、御殿山キャンパス・グローバルタウン開学
2019(平 31)年	3 月、国際言語学部廃止
2020(令 2)年	4 月、大庭幸男大学学長が就任
2021(令 3)年	4 月、谷本榮子理事長が総長に就任 谷本和子短期大学部学長が就任
2023(令 5)年	4 月、国際共生学部国際共生学科、外国語学部英語・デジタルコミュニケーション学科を設置
2024(令 6)年	4 月、外国語学部国際日本学科、短期大学部未来キャリア英語学科を設置

3. 設置学校等

(2024 年 4 月 1 日現在)

【 学校法人 関西外国語大学 】

○ 理事長・総長 谷本榮子

【 設置校 】

○ 関西外国語大学（外国語学部、英語国際学部、英語キャリア学部、国際共生学部、大学院、留学生別科）

所在地 大阪府枚方市中宮東之町 16 番 1 号

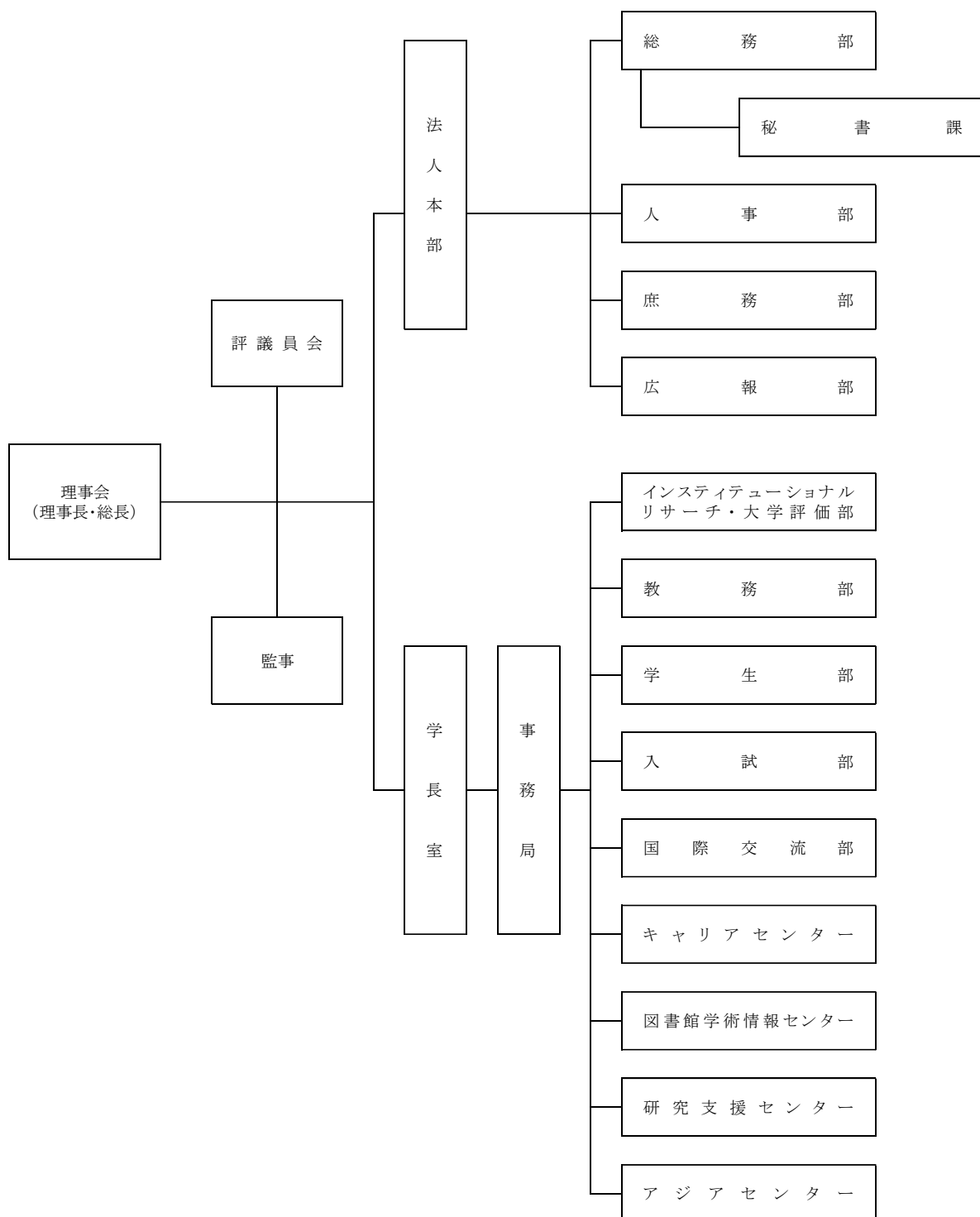
学長 大庭幸男

○ 関西外国語大学短期大学部（英米語学科、未来キャリア英語学科）

所在地 大阪府枚方市中宮東之町 16 番 1 号

学長 谷本和子

4. 法人・大学事務組織機構図



5. 役員及び教職員に関する情報

(2024 年 4 月 1 日現在)

(1) 理事・監事一覧（理事定員 7～8 名 現員 7 名。 監事定員 2 名 現員 2 名）

	職名又は担当職	氏 名	常勤・ 非常勤		職名又は担当職	氏 名	常勤・ 非常勤
理事長		谷本 榮子	常勤	理事 (外部役員)		菅野 和夫	非常勤
理事	大学学長	大庭 幸男	常勤	理事 (外部役員)		田村 幸男	非常勤
理事	法人担当	小寫 典明	常勤	監事		伊藤 正一	常勤
理事	短大学長	谷本 和子	常勤	監事 (外部役員)		宗吉 勝正	非常勤
理事	教学担当	神田 修悦	常勤				

(2) 評議員一覧（定員 17 名 現員 17 名）

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
谷本 榮子	遠藤 幸治	尾藤 広幸	山本 徹也	矢野 義人	谷本 和子
藤木 英幸	新庄 哲三	大庭 幸男	神田 修悦	谷本 義高	小寫 典明
菊池 清明	玉井 久之	長井 渡	草野 功一	川原 俊明	

(3) 教職員数（単位：人）

(2023 年 5 月 1 日現在)

(1)教 員	専 任								非常勤		合 計	
	教 授		准教授		助 教		講 師					
		内 女性		内 女性		内 女性		内 女性		内 女性		
大学	124 (22)	32 (5)	81 (25)	40 (12)	14 (5)	8 (4)	50 (34)	28 (18)	205 (60)	118 (18)	474 (146)	226 (57)
短期大学部	22 (0)	7 (0)	14 (4)	5 (3)	1 (1)	1 (1)	10 (4)	4 (0)	40 (9)	30 (2)	87 (18)	47 (6)
計	146 (22)	39 (5)	95 (29)	45 (15)	15 (6)	9 (5)	60 (38)	32 (18)	245 (69)	148 (20)	561 (164)	273 (63)

(注) ()は外国人教員内数

(2) 職 員	専 任		非常勤		合 計	
		内 女性		内 女性		内 女性
大学	136	68	29	21	165	89
短期大学部	26	11	5	4	31	15
計	162	79	34	25	196	104

(3) 教職員 〔(1)+(2)〕	専 任		非常勤		合 計	
		内 女性		内 女性		内 女性
合 計	478	204	279	173	757	377

6. 学部・学科等の入学定員、学生数の状況

(2023 年 5 月 1 日現在)

				入学定員	3 年 次 編入定員	収容定員 (a)	在籍者数 (b)	収容 定員比 (b/a)
大 学	大 学 院 外 国 語 学 研 究 科	博 士 前 期 課 程	英 語 学 専 攻	15	—	30	14	0.46
			言語文化専攻	20	—	40	25	0.62
		博 士 後 期 課 程	英 語 学 専 攻	3	—	9	3	0.33
			言語文化専攻	3	—	9	5	0.55
		大 学 院 計		41	—	88	47	0.53
	外 国 語 学 部	英 米 語 学 科		865	300	4,975	5,236	1.05
		スペイン語学科		250	25	1,050	1,010	0.96
		英語・デジタルコミュニケーション学科		200	0	200	210	1.05
		計		1,315	325	6,225	6,456	1.03
	学	英語国際学部 英語国際学科		700	100	3,000	3,091	1.03
		英 語 キ ャ リ ア 学 部	英語キャリア学科	120	—	480	481	1.00
			英語キャリア学科 小学校教員コース	50	—	140	114	0.81
			計	170	—	620	595	0.95
		国際共生学部 国際共生学科		70	30	100	74	0.74
		学 部 計		2,255	455	9,945	10,216	1.02
		大 学 合 計		2,296	455	10,033	10,263	1.02
		留 学 生 別 科		400	—	400	503	1.25
短期大 学部	英 米 語 学 科		800	—	1,600	1,140	0.71	
	短 大 合 計		800	—	1,600	1,140	0.71	
総 合 計				3,496	455	12,033	11,906	0.98

7. 文部科学省経常費補助金交付額の推移

(単位：千円)

	一般補助金			特別補助金			経常費補助金合計		
	大学	短大	合計	大学	短大	合計	大学	短大	合計
2013(平 25)年度	307,080	100,147	407,227	95,760	17,567	113,327	402,840	117,714	520,554
2014(平 26)年度	298,030	68,712	366,742	96,083	34,139	130,222	394,113	102,851	496,964
2015(平 27)年度	271,625	80,897	352,522	103,287	41,915	145,202	374,912	122,812	497,724
2016(平 28)年度	295,397	90,002	385,399	97,369	39,024	136,393	392,766	129,026	521,792
2017(平 29)年度	312,874	73,416	386,290	126,458	47,750	174,208	439,332	121,166	560,498
2018(平 30)年度	482,504	90,647	573,151	100,322	35,548	135,870	582,826	126,195	709,021
2019(令 1)年度	523,539	90,899	614,438	80,680	7,000	87,680	604,219	97,899	702,118
2020(令 2)年度	469,862	98,453	568,315	30,802	2,350	33,152	500,664	100,803	601,467
2021(令 3)年度	647,540	132,972	780,512	39,683	9,030	48,713	687,223	142,002	829,225
2022(令 4)年度	589,042	128,036	717,078	42,214	1,710	43,924	631,256	129,746	761,002
2023(令 5)年度	633,344	76,744	710,088	46,356	4,424	50,780	679,700	81,168	760,868

Ⅱ. 事業の概要

1. 当該年度の主な事業計画およびその進捗状況

(1) 新学科設置

- 新学科の設置に向けて
- 学部・大学院博士前期課程 5 年履修プログラム構想

〈進捗状況〉

① 新学科の設置に向けて

「日本と世界をつなぐ」高度な英語運用能力を備え、日本の「すごい」を世界へ発信できる
広く文化・社会に精通したグローバル人材を育成する「国際日本学科」を外国語学部到新設。

憧れの業界で活躍するために必要な力を、在学中にきちんと身に付け、「やりたいこと」を実現する「未来キャリア英語学科」を短期大学部に新設。

【国際日本学科】



実践的な「英語運用能力」を身に付けるため、少人数の習熟度別クラスできめ細かな英語教育を展開。英語 4 技能の向上に加え、コンテンツ・ベースト・ラーニングにより、日本の文化や社会をトピックとした英語文献講読による読解力や文書表現力、およびプレゼンテーション、ディスカッションなどの高度な英語コミュニケーション力を育成する。また、増加する在留外国人および外国人労働者と「日本」をつなぎ、橋渡し役となって「国際化」に貢献できる人材を育成、日本語を母語としない人に日本語を教える日本語教員を養成する。

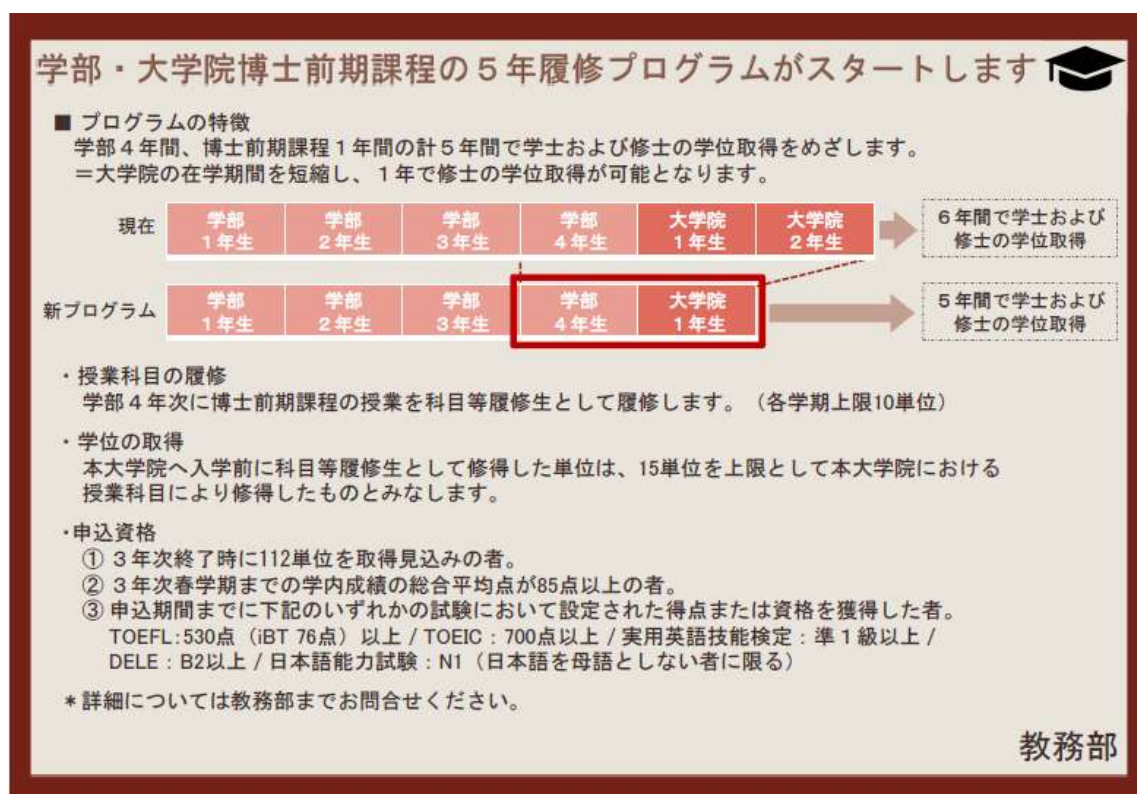
【未来キャリア英語学科】



K. G. C. ベーシックスをクラス担任が担当し、キャリア形成に必要な知識や人間力を養成。英語学習については、トピックごとに分析やディスカッションを行い、4技能（読む・書く・聞く・話す）をバランス良く身につける。「エアライン・ビジネス」「観光・ビジネス」「ファッションコーディネート実践」など、人気のある業界や職業に関する専門知識・専門スキルを身に付けることができる多彩な科目を開設している。秘書士、ビジネス実務士、観光実務士の資格取得や、サービス接遇検定やファッションビジネス能力検定など、実用的な資格につながる科目も履修可能。

② 学部・大学院博士前期課程の5年履修プログラム構想

学部・大学院博士前期課程の5年間で、専門知識と研究能力、豊かな教養、国際性、実践力を身に付け、修士の学位取得をめざす、将来のキャリアパス形成に資する5年履修プログラムを検討。2024年に学部3年生を対象にプログラム履修者を募集する予定。



(2) 組織の更なる改革

- 学校法人制度改革（ガバナンス改革）への対応
- 「オール Kansai Gaidai」としての組織力を発揮した新たな改革への取り組み

① 学校法人制度改革（ガバナンス改革）への対応

私立学校法の改正に伴う組織・体制構築、および寄附行為改正案、各種規程の策定・整備を実施。ガバナンス・コードの根本的見直しと点検、事業計画の大幅な改正と策定を行った。

② アジアセンター設置

グローバル化の進展とともに世界におけるアジア全体の地位が高まり、その重要性がますます増大する現在において、中国、韓国をはじめとするアジア諸国の言語や文化に関する教育や人的交流等の企画・推進等を目的とする「アジアセンター」を設置。

(3) 学修者本位の教育の質向上 ―どこでも生きていける“逞しく品格ある人物”の育成―

- キャリア教育科目の充実
- TOEIC 目標スコア取得プログラム検討

- 大学院改革の推進
- 学修成果の可視化

<進捗状況>

① キャリア教育科目の充実

キャリア・デザイン・プログラムの一環として、大学のキャリア関連科目を見直し、総合科目（学生生活とライフキャリア）を開講し、外国語学部英米語学科およびスペイン語学科1年生へ履修を推奨する予定。また、新たに総合科目（産業構造概論）の新設を検討し、初年次からキャリア意識を形成する。

② TOEIC 目標スコア取得プログラム検討

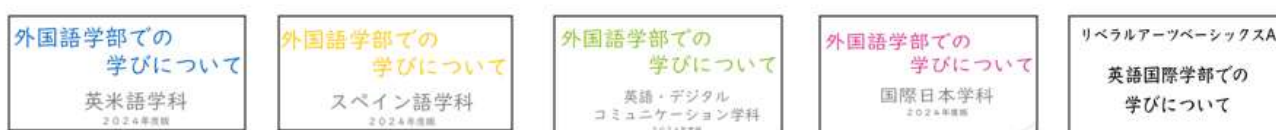
外国語学部英米語学科において、学年別 TOEIC 目標スコアをクリアすることを目的に、2024 年秋学期より1年生に e-learning システム u-CAT での学修を義務付け、1 年次終了時に目標スコア 560 点に未達の者は次年度に「TOEIC 演習」の履修を義務付けるものとする。

③ 大学院改革の推進

2025 年に博士前期課程英語学専攻の英語教育コースの科目と英語学コースの統合を検討する。一部授業科目の見直しを行うとともに、言語文化専攻の一部の科目を英語学専攻と共通開講することにより、学修機会の拡充を図る。英語学専攻において授与する学位および専攻分野は修士（英語学）もしくは修士（英語教育）とする。

④ 学修成果の可視化

各学部で導入している学修成果のレーダーチャート機能に加え、外国語学部および英語国際学部において4年間の学びの可視化を目的とした「学びについて」の冊子を作成し、各学科長を中心に学生へ周知徹底することを検討する。



(4) 国際交流の推進 —学生の個性を活かすオンリーワンの国際教育と多様な留学—

- 協定重点校との新たな取組み
- 国際交流プログラム（IEP）の実施方法等見直しと「Learning Nexus」の促進
- 「Super IES プログラム」の見直し
- 新学部・新学科設置に伴う新規留学プログラムの開発・実施
- 「GLOBAL COMMONS 結—YUI—」の活用によるグローバル人材の育成

<進捗状況>

① 協定重点校との新たな取組み

2024 年 3 月末の単位互換協定大学は、55 カ国・地域の 400 大学。

国・地域別のトップ 5 は、アメリカ 188 校、カナダ 38 校、中国 19 校、オーストラリア 18 校、韓国 13 校となっている。

2023 年度は 1,166 人を派遣（短期派遣 830 人、長期派遣 336 人）。特に本学と留学先大学の 2 つの学位を取得するダブル・ディグリー生を 44 人派遣した。また海外からの留学生は 900 人を受入れ（うち約 60%が北米からの留学生）。

協定重点校との関係強化を図るため、2023 年度はニューヨーク州立大学オルバニー校、イーロン大学、マイアミ大学、パシフィック大学等を訪問。当該大学からの 2024 年春学期の留学生受入数は前期比 1.6 倍となった。

特徴的な語学留学プログラム（語学留学+SDGs）も継続実施（ニューヨーク州立大学オルバニー校、クイーンズランド工科大学）。ウォータールー大学、アリゾナ州立大学と新規プログラムの立ち上げも交渉中。

また、協定校の教員が学生を引率して本学で研修を行う Faculty-led Program も積極的に実施し、226 人を受入れ。

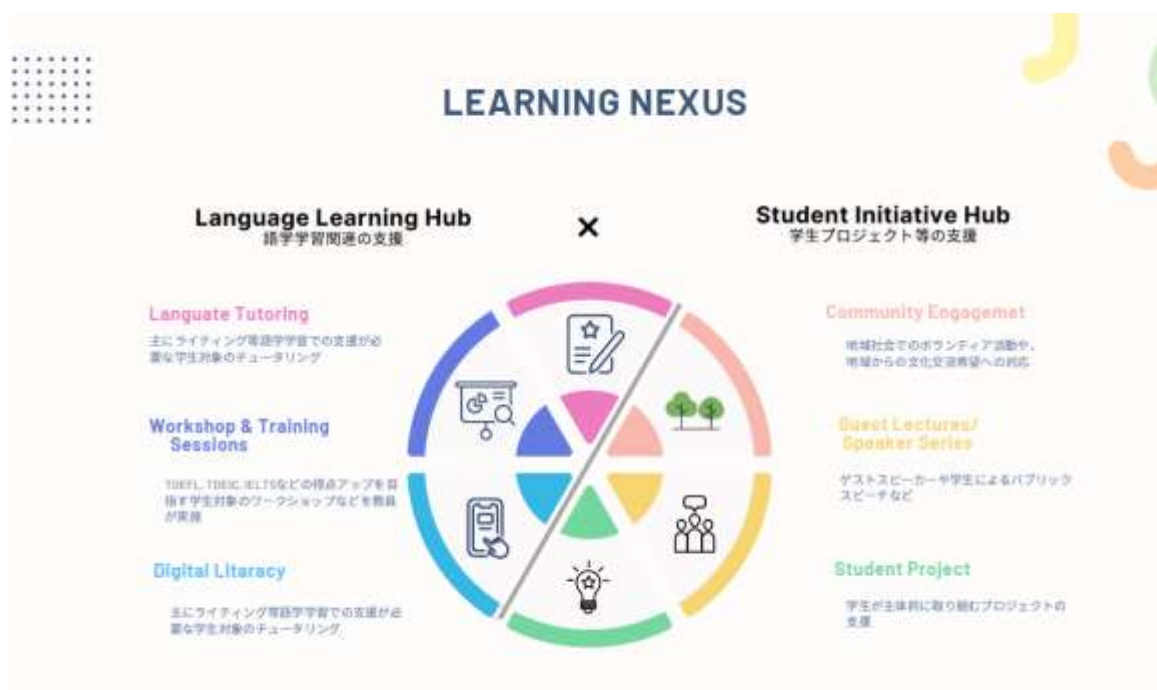
[Faculty-led Program 受入実績]

	時期	大学名	人数
1	2023 年 5 月	Roanoke College（米国）	24
2	5 月	Rollins College（米国）	22
3	6 月	Bayview College（オーストラリア）	22
4	6 月	Virginia Polytechnic Institute & State University（米国）	16
5	6 月	Austin Community College（米国）	16
6	6 月	Middle Tennessee State University（米国）	12
7	7 月	Northern Lights College（カナダ）	7
8	7 月	日本文化海外サポートセンター	5
9	11 月	SMA ASSALAAM SUKOHARJO（インドネシア）	37
10	11 月	Strawberry Field High School（インド）	36
11	2024 年 1 月	Elon University（米国）	29
計			226

② オンライン国際交流プログラム（IEP）の実施方法等見直しと「Learning Nexus」の促進

Intercultural Engagement Program（IEP）はコロナ禍の 2020 年秋学期に始動し、主にオンライン上での交流やイベント実施等を行ってきたが、対面授業に戻り、留学生も来日できるようになったことで、オンライン交流に対する需要は低下してきた。そこで IEP を発展的に解消し、「Learning Nexus」という新たな名称で、地域社会との連携・交流、「英語ライテ

ィングセンター」の開設などに取り組んだ。特に「英語ライティングセンター」は、教員スーパーバイザーの指導のもと、留学生がチューターとなり、英語のエッセイなどの他にも、海外協定校へ提出する志望動機（Statement of Purpose）や英文履歴書の作成方法なども指導している。



③ 「Super IES プログラム」の見直し

「Super IES プログラム」は、留学に必要な英語の運用能力や教養、アカデミックスキル等を養成することを目的として開発された英語教育プログラムで、留学先大学の学士課程の授業に十分対応することができるようになることを到達目標として設定している。

「Super IES プログラム」を実施する各大学に報告書を提出してもらい、成果の可視化、課題の共有、次年度への改善策の反映ができる体制を構築した。特にモチベーション低下によるドロップアウトを防ぐ方法や、交換留学の選考や留学準備教育等についても情報共有し、スムーズな留学派遣につながるよう努めている。

④ 新学部・新学科設置に伴う新規留学プログラムの開発・実施

2024 年 4 月開設の外国語学部国際日本学科には、留学先大学での授業履修に加え、日本語学習者の支援や日本文化の発信をめざす「グローバル・リエゾン留学」と、日本語教員養成課程履修者を対象に、ハノイ国家大学外国語大学の日本言語文化学部にて、日本語授業の見学や会話練習のサポート等を実施する短期（3 週間）研修プログラムを開発。

短期大学部未来キャリア英語学科には、講義内で学修したグローバルな職業観を海外で実際に体感することでより本質的な理解のもと、自らのキャリアプランに活用できるようにブラッシュアップするプログラムを開発予定。

⑤ 「GLOBAL COMMONS 結—YUI—」の活用によるグローバル人材の育成

550 人（うち留学生比率約 75%）を超える学生が入居する「GLOBAL COMMONS 結—YUI—」では、RA（Resident Assistant）中心に、フィールドワークや各種交流イベントを企画、運営した。異なる文化や思想を持つ学生との交流、共同生活を通し、相互理解と各種問題解決に対応した。

(5) 学修生活支援体制の整備 ——原点回帰：大学は学生のためにある——

- 修学支援の柔軟な対応と確実な実行
- クラブ・サークル活動活性化に向けた支援
- 新入生や悩みを抱える学生に対する心のケア

① 修学支援の柔軟な対応と確実な実行

2020 年 4 月から施行された「高等教育の修学支援新制度」の対象機関として、文部科学省より本学が認定され、住民税非課税世帯とそれに準じる世帯を対象に、国や自治体が学生の授業料・入学金を減免するほか、給付型奨学金の支給を行った。

2023 年度は 1,715 人/1,016 百万円の支給となったほか、大学独自の奨学金として、「同窓会奨学金」は 30 人/1,080 万円、「荒川化学・戸毛敏美奨学金」は 3 人/60 万円をそれぞれ支給した。新入生の入学金・春学期授業料および教育充実費を減免する「入学時支援奨学金」においては、13 人/512 万円を支援した。また、大学院に入学する学生を対象に、入学金・年間授業料および教育充実費を減免する「高度専門職業人育成奨学金」は 3 人/120 万円となった。

② クラブ・サークル活動活性化に向けた支援

課外活動において顕著な成績を収め、大学の名誉を高めた個人または団体に対して、「関西外国語大学課外活動支援奨学金規程」に基づき、交通費、宿泊費などの必要経費の一部または全部を支援することとし、2023 年度は、チアリーダー部、セパタクロー部、少林寺拳法など 6 団体（11 件）に総額約 260 万円の奨学金支給による支援を行った。

また、2023 年度学長賞の授賞式が 2024 年 3 月 2 日に行われ、採択率が低い英語学関連学会誌への論文掲載で川口尚毅さん、「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト日本予選で 2 位を飾った佐野いつみさん（英語国際学部 4 年）、短期大学部から教員採用試験で現役合格を飾った龍神真斗さん、少林寺拳法世界大会 in Tokyo, Japan で上位入賞を果たした重里海斗、三笠七海ペア、全日本学生セパタクロー選手権大会で男子ベスト 8、女子 3 位の好成績を収めたセパタクロー部の、個人 5 人、および 1 団体に学長賞が贈られた。

その他、4 月には新入生歓迎祭を対面開催し、約 3,000 名の新入生が参加。クラブ・サークル勧誘期間を設定し、継続的に勧誘活動を行うなど活性化を図った。

③ 新入生や悩みを抱える学生の心のケア

新入生対象の学生部オリエンテーションにて、学生生活における支援体制などを説明すると共に、学生相談室の具体的な取り組みを紹介した。またいつでもどんな悩みでも相談できることを周知するため、「相談室だより」の年 4 回発行に加えて、新たに作成したポスターを

学生の目に留まりやすい掲示板や食堂・トイレ等に掲示したことで、心のケアの相談件数が、全相談件数の約 16%を占めるなど、一定の効果を上げた。

2023 年度（2024 年 3 月 15 日現在）学生相談室への相談件数は 1,233 件（中宮 1,036 件、御殿山 197 件）で、コロナ禍前の 2019 年度相談件数 614 件（中宮 502 件、御殿山 112 件）と比較して、約 2.0 倍となっている。相談体制の充実、相談方法の多様化（オンライン相談等）、および相談室の存在の周知徹底により、より多くの学生の心のケアに対応できている。

(6) 入試・広報の強化・推進

- 学生募集の更なる強化
- 新学科設置に向けた広報推進

① 短期大学部に自己推薦入試を導入

短期大学部で 2 年間、学ぶことに意欲的な人を対象として、全 3 回の入学前教育すべてに参加し、所定の英語資格・検定試験において基準以上を取得した者については、入学年次の春学期授業料の 50%相当を奨学金として入学後に支給する自己推薦入試を導入。

② 「FIND your future !」の開催

現役の本学学生がプロデュースし、全国の高校生に関西外大を発信するイベント「FIND your future !」を対面とオンラインのハイブリッドで開催。リアルな情報を現役学生や卒業生から直接聞けるイベントとして、多くの高校生が参加。

(7) 就職支援強化

- 低学年からの資格取得やキャリア教育の推進など教学面との連携強化
- 海外を含む多様な就業体験プログラムの推進

① 低年次からのキャリア教育の推進

学生が自分のキャリア（ライフキャリア&ワークキャリア）を考え、目標を持って学生生活を送り、自身のキャリア形成に取り組むことができるように、低年次から途切れなく体系的に正課授業と連携してキャリア教育を推進するためのカリキュラムを策定。キャリア関連科目においては、非就職者を含む学生の進路の多様化への対応も強化し、例えば、外国語学部英米語学科およびスペイン語学科においては、キャリアデザインに関する授業および社会理解に関する授業で 1 科目展開から 3 科目展開に拡大した。

② 本学ならではのキャリア支援の再開

コロナ禍において中止もしくは制限を受けていた航空・観光業界の採用活動再開に伴い、航空各社との連携による学内講座、およびマネジメント人材の育成に積極的なホテルとの連携によるホテルフェアを再開した。留学生別科への留学生受入再開に伴い、海外留学生グローバルインターンシップの新規受入企業も開拓し、参画 16 社に 30 名の外国人留学生（過去最高人数）を派遣した。更に、来年度は 18 社に 35 名を派遣予定。

〔主な就職支援活動（2023 年度）〕

4 月 18・19 日	第 1 回就職ガイダンス【中宮・御殿山】
4 月 24 日	大学生生活 START アップセミナー【対面＋オンライン】
4 月 25・26 日	就活サイト活用セミナー【対面＋オンライン】
4 月 28 日	スタートアップセミナー【対面＋オンライン】
5 月 8 日	第 2 回就職ガイダンス【中宮】
5 月 9 日	適正検査を活かした自己分析セミナー【対面＋オンライン】
5 月 10 日	筆記試験対策セミナー【対面＋オンライン】
5 月 12 日	履歴書・ES 作成セミナー【対面＋オンライン】
5 月 15 日	外資系企業で働くって何？セミナー【オンライン】
5 月 16 日	外国人留学生対象就活セミナー【御殿山】
5 月 16 日	卒業生が伝える！就活対策セミナー【対面＋オンライン】
5 月 24 日	体育会学生向け就職セミナー【中宮】
5 月 30 日	GD・G 面接対策セミナー【対面＋オンライン】
6 月 3 日	短 1・2 年生 保護者懇談会【中宮】
6 月 24・25 日	東京サマーキャリアフォーラム引率
7 月 4 日	第 3 回就職ガイダンス【中宮】
7 月 14 日	業界・企業・職種研究セミナー【対面＋オンライン】
7 月 15 日	3 年生 保護者就職懇談会【中宮】
8 月 26 日	2 年生 保護者就職懇談会【中宮】
8 月 29 日	就職年次生対象オンライン合同企業説明会【オンライン】
9 月 7・8 日	業界研究会【中宮】
9 月 15 日	第 4 回就職ガイダンス【中宮】
9 月 27・29 日	秋からはじめる！就活サイト活用セミナー【対面＋オンライン】
10 月 18 日	第 5 回就職ガイダンス【御殿山】
10 月 20 日	外国人留学生対象就活セミナー【御殿山】
10 月 27 日	京都府主催記念行事【中宮】
11 月 11 日	就職活動のための身だしなみセミナー【中宮】
11 月 25 日	航空業界セミナー【中宮】
12 月 12 日	就職年次生対象オンライン合同企業説明会【オンライン】
1 月 26 日	第 6 回就職ガイダンス【中宮】
1 月 31 日～2 月 1 日	企業研究セミナー【中宮】
2 月 14・15 日	就職活動総復習セミナー【中宮】
2 月 16 日	UIJ ターンオンラインセミナー【オンライン】
2 月 20 日	ホテルフェア【中宮】
2 月 27 日～3 月 6 日	企業研究セミナー【中宮】
3 月 13・14 日	航空業界学内企業説明会(ANA・JAL グループ)【中宮】
3 月 25～30 日	就職何でも相談会【中宮】

(8) 同窓会の活動

① 同窓会北陸支部設立総会開催

2020 年 4 月に設立された同窓会北陸支部の設立総会が、7 月 9 日金沢市で開催された。北陸支部は、関東・関西・中部に次ぐ 4 番目の支部として設立されたが、コロナ禍の影響のため 3 年余りを経て開催。

② ホームカミングデー

10 月 28 日、ホームカミングデー・同窓会総会が開催され、総会・講演会・懇親会に約 200 人が参加。2023 年 3 月現在の同窓生は、約 20 万 2,500 人。

③ 留学生別科ホームカミングイベント

5 月 27 日、留学生別科の第 1 回ホームカミングイベントを開催。交換留学制度の開始から 50 年が経過したのを記念したもので、修了生・随行者約 150 人と現役留学生約 270 人が参加したほか、約 280 人がオンラインで参加。1972 年にスタートした交換留学制度は 2022 年に 50 年となり、協定校数は 55 カ国・地域の 400 大学、留学生別科修了生は約 1 万 9,000 人。

(9) その他特記すべき事項

① 2023 年度入学式

2023 年 4 月 2 日に大学院、大学、短期大学部の入学式を挙行。2023 年度の新入生は、大学院博士前期課程 16 人、同後期課程 2 人、外国語学部 1,389 人、英語国際学部 766 人、英語キャリア学部 168 人、国際共生学部 74 人、3 年次編入学 494 人、短期大学部 529 人、合計 3,438 人であった。

② 新入生歓迎祭

新入生歓迎祭を 4 月 9 日に開催した。十分な感染症防止対策を講じて対面形式で実施し、当日はクラブ・サークルの勧誘ブースを設置するなど、新入生がクラブ・サークルに加入するきっかけを提供した。キャンパス内を謎解きしながらスタンプラリーをする「外大ラビリンス」では、各ブースに長い列ができる活気を見せ、他の企画では、参加者同士が交流を深められる趣向を凝らし、友人作りのきっかけとなった。(参加者：約 3,000 人)

③ 文化博覧会

文化会本部が主催する文化博覧会を 6 月 18 日に実施した。テーマは「結」で、クラブやサークル、団体と文化会本部が団結し、結束を固めていきたいとの思いを込めている。当日は、文化系クラブ・サークル（全 23 団体）がそれぞれの演技・演奏を行い、日頃の成果を発表する機会となった。また、オープンキャンパスとの同時開催としたことで、高校生や一般の方などにも幅広く本学のクラブ・サークルの魅力を伝える機会となった。(参加者：約 600 人)

④ 食料品等支援

学友会、体育会、文化会、学生会の学生 4 団体が食料品などの支援企画を外大生応援プロジ

エクトの一環として9月16日に実施した。当日は、物価高により生活が困窮した学生を支援するため、パックご飯やレトルト食品などの食料品や日用品を支給した。また、枚方ロータリークラブからも支援を受けるなど、地域との連携により、多くの学生へ支援を行った。

(支給者数：9月16日 約1,000人)

⑤ フレッシュマンイベント

8月、体育会本部・文化会本部・学生会本部の各団体により、新1年生を対象としたフレッシュマンキャンプを開催。昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、日帰りイベントとして実施されていたが、4年ぶりに宿泊を伴うイベントとなった。各会本部活動への理解を深めることを目的とした研修会や、チームワークが試されるレクリエーションなどを取り入れ、参加者同士が交流を深めることで、関西外大生としての自覚と連帯感を醸成する機会となった。(参加者：体育会120名・文化会30名・学生会40名)

⑥ 外大祭（大学祭）

「La vida es bella（スペイン語：人生は美しい）」をテーマとし、外大祭への参加者数を増やすために、初めて10月28・29日の土・日開催とした。当日はクラブ・サークルによる演技・演奏の発表や参加者間で交流が深められる企画が実施された。また、タレントの「アンミカさん」のトークショーも開催され、谷本記念講堂の収容人数2000人を動員。学生からのさまざまな質問に対して、自らの経験談をもとにポジティブな答えを導き出し、学生たちにエールを送った。(参加者：2日間 計11,053人)

⑦ Clubs and Circles EXPO

留学生を対象としたクラブ・サークル勧誘イベントを実施。留学生別科のスケジュールに合わせ、9月に5日間、翌2月に3日間（時間帯12:15～13:15）で実施。当日は、参加を希望する団体の勧誘ブースを2号館に設置し、クラブ・サークル団体が勧誘を行った。学友会4会も運営に携わり、勧誘だけでなく、留学生歓迎のイベントとして交流を図った。

(留学生参加者：9月370人、翌2月210人)

⑧ リーダーズキャンプ

2月中旬、体育会本部・文化会本部により、各本部所属クラブの来年度幹部（部長・副部長・会計など）を対象としたリーダーズキャンプを開催。宿泊を伴うイベントは4年ぶりで、リーダー育成を目的とした研修会や、チームワークが試されるレクリエーションなどを取り入れ、参加者同士の交流を深める機会となった。(参加者：体育会70名・文化会30名)

⑨ 2023年度学位記授与式

2024年3月9日に学位記授与式を挙行了。2023年度卒業生数は、大学院前期課程16人、同後期課程1人、外国語学部1,562人、英語国際学部726人、英語キャリア学部125人、短期大学部525人、合計2,955人であった。

⑩ 関西外国語大学 公式アプリ

学生のキャンパスライフの一層の満足度向上を図ることを目的に、本学独自のスマートフォンアプリを導入・提供。他部署とも連携協働し、「在学生」のための「身近な情報」を「スマートフォン」に届ける。加えて、AI チャットボットをアプリ内に設置し、問い合わせ窓口の複線化を目指している。



⑪ スポーツ活動振興奨学金の新設

入試部との協働により特技入試制度の見直しを行うとともに、スポーツ活動振興奨学金を新設した。本学における課外活動の活性化に資するとともに、クラブ活動を通じて本学の名誉の高揚に寄与する優れた学生および団体を養成することを目的としている。新入生対象では、高校での競技成績に応じて1年次の学費が減免されるもので、従来のS入試区分に加えてA入試区分のクラブにも対象を拡大した。在学生対象では、競技実績に応じて個人または団体に奨学金が給付される制度としている。

⑫ オナーバッジ

学業、課外活動、社会活動等のさまざまな分野で優れた評価を受け、本学の名誉を高めた個人や団体に授与する制度として、オナーバッジが設けられ、2023年度は学生9人と7団体に授与された。



⑬ みんなのトイレの設置

各種調査によれば、性的指向、または性自認における少数者（L G B T）の人口規模は約 8%と報告されており、2023 年 6 月には L G B T 理解増進法が施行された。本学においてもこれらの状況に適切に対応するためにジェンダーレストイレを設置することとし、中宮キャンパス 13カ所、御殿山キャンパス・グローバルタウン 6 カ所の障がい者用トイレを「みんなのトイレ」として転用した。

⑭ 障害者差別解消法への対応

障害者差別解消法の改正により、2024 年 4 月 1 日から、私立学校にも合理的配慮の提供が義務化されることとなり、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン委員会を設置するとともに、対応要領およびガイドラインの素案をまとめて対応をより明確にした。

⑮ 能登半島地震への対応

2024 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震について、保護者住所が被災対象地域にある学生（290 人）に対して安否確認を行うとともに、被災の申し出があった学生には災害給付奨学金の案内を行った。

また、災害義援金の募集を行ったところ 351,171 円の協力があり、石川県に寄付した。

⑯ 教職教育センター開設 20 周年

2003 年 9 月、教職課程履修者を対象として、教員の養成支援活動や小・中・高校の教育現場との連携を目的に開設された教職教育センターが 20 周年を迎えた。公立学校教員採用試験の現役合格者数は、教職教育センターのきめ細かく徹底した指導により、2021 年度 34 人、2022 年度 42 人、2023 年度 49 人と着実に実績を上げている。特に、2023 年度は短期大学部で初めての現役合格者を出した。

⑰ グローバル・イノベーション・プログラム

「グローバル・イノベーション・プログラム」は、御殿山キャンパス・グローバルタウンで日本人学生と留学生が交流するイベントで、学生ボランティアがプログラムを企画・運営し、毎週開催される。英語国際学部を中心とする日本人学生、欧米出身者を主とする留学生別科生にアジアからの留学生を加えた国際交流の拠点、多文化共生の場を御殿山キャンパス・グローバルタウンにつくることを目指す。

⑱ 「大学ランキング 2024 年版」

日本の大学 796 校について、さまざまなデータをランキング表にまとめた「大学ランキング 2024 年版」（朝日新聞出版）において、本学は 2、3 年次編入学数（本学は 3 年次編入学のみ）が 488 人（22 年度）で 8 年連続 1 位となった。外国人教員数は 84 人で 13 位、高校教員採用数が 18 人で 63 位、中学校教員採用数が 28 人で 65 位だった。関西エリアの卒業生 2,000 人以上の大学で、就職率が 95.45%で 9 位となった。

キャンピングアテンダント採用者数は、2019～2022 年の合計が 222 人で全国 1 位。

⑲ 「本当に強い大学 2023」

週刊東洋経済で発表された「本当に強い大学 2023」の総合ランキングで、本学は 563 校中 42 位にランクインし、関西の私立大学では、同志社大学(24 位)、近畿大学(31 位)、関西学院大学(33 位)、立命館大学(40 位)に次いで 5 番手となった。

⑳ 「進学ブランド力調査 2023 (リクルート進学総研)」

「国際的なセンスが身に付く」で、受験生からの評価ランキングが関西エリア 1 位となった。

㉑ 「価値ある大学 2023-2024 (日経キャリアマガジン)」

日経 HR の「企業の人事担当者から見た大学のイメージ調査」で、本学は「グローバル教育に取り組む大学」(近畿私大 1 位／全体 5 位)、「留学生の支援に取り組む大学」(近畿私大 1 位／全体 6 位)と上位につけた。

㉒ 「関西外国語大学短期大学部 70 周年記念誌」を発刊

2023 年が短期大学部の創立 70 周年になることを記念し、70 周年記念誌を発刊した。短期大学部に関する年史や記念誌の発刊は 40 年ぶり。ここ 10 数年の新たな取り組みに焦点を当て、さまざまな挑戦の軌跡をまとめ、未来に向けた思いや決意を示した。A4 判ソフトカバーの 80 ページ。第 1 章「オンリーワン・ナンバーワンへの軌跡」、第 2 章「現在、過去、そして未来を語る」、第 3 章「万代から穂谷、中宮へ」の 3 章立て。



2. 教育研究の概要

(1) 教育研究上の基本となる組織に関する情報

(2023 年 5 月 1 日現在)

○ 学部・学科、研究科・専攻ごとの名称

大 学 等	学部・研究科等	学 科 等	課程等	備 考
関西外国語大学	外国語学部	英米語学科		
		スペイン語学科		
		英語・デジタルコミュニケーション学科		
	英語国際学部	英語国際学科		
	英語キャリア学部	英語キャリア学科		
		英語キャリア学科 小学校教員コース		
	国際共生学部	国際共生学科		
	外国語学研究科	英語学専攻	博士課程	(前期・後期)
		言語文化専攻	博士課程	(前期・後期)
関西外国語大学 短期大学部	英米語学科			

(2) 教員組織及び教職員数に関する情報

(2023 年 5 月 1 日現在)

○ 教員組織及び教員数

		専 任										非常勤		合 計	
				教 授		准教授		助 教		講 師					
				内 女性	内 女性	内 女性	内 女性	内 女性	内 女性						
大 学	学長	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	外国語学部	170	70	77	20	52	26	10	6	31	18	138	76	308	146
	英語国際学部	48	18	22	4	19	11	4	2	3	1	55	32	103	50
	英語キャリア学部	30	10	14	3	7	3	0	0	9	4	3	2	33	12
	国際共生学部	17	9	8	4	3	0	0	0	6	5	0	0	17	9
	研究所等	3	1	2	1	0	0	0	0	1	0	9	8	12	9
	大学計	269	108	124	32	81	40	14	8	50	28	205	118	474	226
	大学院・外国語 学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短 期 大 学 部	学長	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	英米語学科	46	16	21	6	14	5	1	1	10	4	40	30	86	46
	短大計	47	17	22	7	14	5	1	1	10	4	40	30	87	47
合 計		316	125	146	39	95	45	15	9	60	32	245	148	561	273

○ 教員の保有学位および職務上の業績等

※ 各教員の業績（学歴、学位、職歴、役職、専門・研究分野、著書、学術論文等）は、
本学ホームページに掲載している。

※ 本学ホームページ『学内サポート』→『教員情報』から検索することができます。

<https://rapport2.kansai-gaidai.ac.jp/syllabus/GUSW3000Login.do>

(3) 学生に関する情報

(2024 年 5 月 1 日現在)

○ 入学試験及び入学者の状況（2024 年度入学試験）

学 部	学 科	入学定員	志願者数	受験者数	合格者	入学者数
外国語学部	英米語学科	730 人	4,911 人	4,794 人	2,006 人	784 人
	スペイン語学科	250 人	1,648 人	1,612 人	1,155 人	287 人
	英語・デジタル コミュニケーション学科	200 人	1,542 人	1,509 人	984 人	242 人
	国際日本学科	200 人	1,092 人	1,047 人	946 人	220 人
英語国際学部	英語国際学科	700 人	3,362 人	3,294 人	2,488 人	757 人
英語キャリア学部	英語キャリア学科	120 人	1,857 人	1,810 人	462 人	143 人
	英語キャリア学科 小学校教員コース	50 人	412 人	402 人	324 人	39 人
国際共生学部	国際共生学科	70 人	1,278 人	1,243 人	232 人	71 人
計		2,320 人	16,102 人	15,711 人	8,597 人	2,543 人

【3 年次編入学】

学 部	学 科	入学定員	志願者数	受験者数	合格者	入学者数
外国語学部	英米語学科	200 人	334 人	332 人	203 人	196 人
	スペイン語学科	20 人	18 人	18 人	15 人	15 人
英語国際学部	英語国際学科	75 人	94 人	92 人	80 人	76 人
国際共生学部	国際共生学科	30 人	11 人	11 人	10 人	8 人
計		325 人	457 人	453 人	308 人	295 人

【短期大学部】

学 部	学 科	入学定員	志願者数	受験者数	合格者	入学者数
短期大学部	英米語学科	550 人	933 人	925 人	917 人	486 人
	未来キャリア英語学科	150 人	571 人	565 人	560 人	106 人
計		700 人	1,504 人	1,490 人	1,477 人	592 人

【大学院】

課 程	専 攻	入学定員	志願者数	受験者数	合格者	入学者数
博士前期課程	英語学専攻	15 人	5 人	5 人	5 人	3 人
	言語文化専攻	20 人	16 人	16 人	13 人	11 人
博士後期課程	英語学専攻	3 人	1 人	1 人	0 人	0 人
	言語文化専攻	3 人	0 人	0 人	0 人	0 人
計		41 人	22 人	22 人	18 人	14 人

※ 学部、研究科等における人材養成目的およびアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）は、本学ホームページに掲載している。

※ 『大学案内』→『情報公開』→『教育情報の公開』→『教育研究上の基礎的な情報_② 学部、研究科等における人材養成目的及び3つのポリシー』から閲覧することができます。
<https://www.kansaiaidai.ac.jp/info/disclosure/publication/>

○ 就職状況（2022 年度卒業者）

（2023 年 4 月 1 日現在）

学 部	学 科	卒業者数	就職希望者数	就職者数	就職率
外国語学部	英米語学科	1,384 人	1,123 人	1,050 人	93.5%
	スペイン語学科	243 人	188 人	178 人	94.7%
英語国際学部	英語国際学科	784 人	611 人	570 人	93.3%
英語キャリア学部	英語キャリア学科	97 人	80 人	70 人	87.5%
	小学校教員コース	24 人	23 人	22 人	95.7%
大 学 計		2,532 人	2,025 人	1,890 人	93.3%
短期大学部 *	英米語学科	761 人	169 人	148 人	87.6%

*短期大学部の非就職者数 592 人の内訳（進学者 449 人、その他 143 人（ワーキングホリデー、受験準備など））

【 分野別 卒業生の就職実績（2020～2022 年度）】

・教育：196 人、商社関係：701 人、航空関連：135 人、ホテル業：474 人

【 就職者の主な就職分野・就職先等 】

学部学生
【卸・小売業】 岩谷産業、リョーサン、東海澱粉、K I S C O、ニトリ、P & G ジャパン、シャネル、阪急阪神百貨店、ファーストリテイリング、セブンイレブンジャパン、良品計画、モンベル、大塚商会等
【サービス業】 J T B、帝国ホテル、ロイヤルホテル、星野リゾート、ホテルニューアワジ、近鉄・都ホテルズ、ホテル京阪マネジメント、高見、ANA X、エン・ジャパン、丸亀製麺、船井総合研究所等

【製造業】 小松製作所、DMG森精機、東リ、ルネサスエレクトロニクス、大王製紙、富士通、キンドリルジャパン、キーエンス、NTN、三菱自動車工業、ブラザー工業、三ツ星ベルト、アイリスオーヤマ、ニプロ、サンスター、アサヒ飲料、アルフレッサファーマ、横浜ゴム等
【運輸・倉庫業】 日本航空（JAL）、ジェイエア、ソラシドエア、ANA大阪空港、ANA関西空港、Kスカイ、JALスカイ、日本通運、ANACargo、西日本旅客鉄道、北海道旅客鉄道、日本郵便等
【金融・保険業】 日本銀行、三井住友銀行、りそな銀行、京都銀行、紀陽銀行、イオン銀行、尼崎信用金庫、SMB C日興証券、SBIホールディングス、日本生命、住友生命、明治安田生命等
【教員・教育業】 各都道府県教員（高等学校・中学校・小学校）、関西外大、ECC、ヒューマンアカデミー等
【公務員】 地方公務員（東京、大阪、京都、広島、福岡等）、各府県警察本部、消防士等
【その他】 関西電力、きんでん、楽天グループ、ソフトバンクグループ、マイナビ、静岡朝日テレビ、福岡放送、大和ハウス工業、積水ハウス、近鉄不動産、三井住友トラスト不動産、日本年金機構等

短期大学部学生
【卸・小売業】 エービーシー・マート、モンベル、江綿、ダイアナ、アニエスベージャパン、タペストリー・ジャパン、ライフコーポレーション、マックスバリュ西日本、万代、小西医療器、関西マツダ等
【サービス業】 ロイヤルホテル、近鉄・都ホテルズ、ホテルモントレ、アパホテル、東横イン、ジェイアール西日本ホテル開発、くら寿司、日本マクドナルド、マーキュリー、アスタリスク、TBCグループ等
【製造業】 京セラ、東洋紡、武蔵野、両口屋是清、ティーアンドエムズ、ワコー、テクノロール等
【その他】 地方公務員、ヒューマンライフケア、タップカンパニー、日本通運、両備ホールディングス、日本梱包運輸倉庫、紀州農業協同組合、オオサカムセンデンキ、Bright、イートラスト等

【短期大学部編入学】

○ 短期大学部 2023 年度（2024 年入学）編入学合格者状況

（2024 年 3 月 21 日現在）

① 本学 3 年次編入学合格者数 229 人

② 他大学編入学合格者数 31 人

設置	所在	大学名	学部	学科	年次	合格者数	
私立	東京	駒澤大学	経済学部	現代応用経済学科	3	1	(指 1)
		法政大学	通信教育部 文学部	日本文学科	3	1	
	愛知	南山大学	総合政策学部	総合政策学科	3	2	(指 2)
	京都	京都産業大学	経営学部	マネジメント学科	3	2	(指 2)
			経済学部	経済学科	3	1	(指 1)
			法学部	法律学科	3	1	(指 1)
		同志社女子大学	表象文化学部	英語英文学科	3	1	(指 1)
		仏教大学	通信教育課程 教育学部	教育学科	3	1	
		平安女学院大学	国際観光学部	国際観光学科	3	1	(指 1)
		龍谷大学	国際学部	国際文化学科	3	3	(指 3)
			法学部	法律学科	3	1	(指 1)
	大阪	追手門学院大学	国際学部	国際学科	3	2	(指 2)
		大阪学院大学	外国語学部	英語学科	3	1	(指 1)
		大阪国際大学	国際教養学部	国際観光学科	3	1	(指 1)
		大阪女学院大学	国際・英語学部	国際・英語学科	3	2	(指 2)
		関西大学	総合情報学部	総合情報学科	2	2	(指 2)
			政策創造学部	政策学科	3	1	
		関西福祉科学大学	心理科学部	心理科学科	3	1	(指 1)
		羽衣国際大学	人間生活学部	食物栄養学科	3	1	
		阪南大学	国際コミュニケーション学部	国際コミュニケーション学科	3	1	(指 1)
		桃山学院大学	国際教養学部	英語・国際文化学科	3	3	(指 3)
	兵庫	関西学院大学	教育学部	教育学科	3	1	
	計					31	(指 26)

*(指)は指定校の略

(4) 教育課程に関する情報

各学部・学科等とも、当該学科のビジョン（人材養成目的、学科の特色など）、教育目標、カリキュラムの特色、カリキュラムの内容をはじめ、授業科目、授業の方法および内容ならびに年間授業計画など教育課程に関する情報は、本学のホームページに掲載している。

※ 各学部・学科などのビジョン等については、本学ホームページ『学部/大学院』から閲覧することができます。

<https://www.kansaiaidai.ac.jp/academics/>

※ シラバスについては、本学ホームページ『学内サポート』→『シラバス』から閲覧することができます。

<https://rapport2.kansaiaidai.ac.jp/syllabus/GUSW1001TransSyllabus.do>

(5) 学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準に関する情報

各学部・学科等の学修の成果にかかる評価（成績評価）および卒業の認定にあたっての基準（卒業・修了の要件ならびに学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に関する情報は、大学のホームページに掲載している。

※ 本学ホームページ『大学案内』→『情報公開』→『教育情報の公開』→『教育研究上の基礎的な情報_② 学部、研究科等における人材養成目的および3つのポリシー』から閲覧することができます。

<https://www.kansaiaidai.ac.jp/info/disclosure/publication/>

大 学 の 名 称	関西外国語大学					
学部等の名称	修 業 年 限	必要修得 単 位 数	科目区分ごとの修得単位数			学位または名称
			必修	選択	自由	
外国語学部	年	単位	単位	単位	単位	
英米語学科	4	124	40	84		学士(英語学)
スペイン語学科	4	124	44	80		学士(スペイン語学)
英語・デジタルコミュニケーション学科	4	124	40	84		学士(英語学)
英語国際学部						
英語国際学科	4	124	40	84		学士(英語国際)
英語キャリア学部						
英語キャリア学科	4	124	76	48		学士(英語キャリア)
英語キャリア学科小学校教員コース	4	124	108	16		学士(教育)
国際共生学部						
国際共生学科	4	124	52	72		学士(国際共生)
大学院外国語学研究科						
博士前期課程						
英語学専攻	2	34	12	22		修士(英語学) 他
言語文化専攻	2	34	12	22		修士(言語文化) 他
博士後期課程						
英語学専攻	3	16	8	8		博士(英語学) 他
言語文化専攻	3	16	8	8		博士(言語文化) 他
大 学 の 名 称	関西外国語大学短期大学部					
学部等の名称	修 業 年 限	必要修得 単 位 数	科目区分ごとの修得単位数			学位または名称
			必修	選択	自由	
英米語学科	年	単位	単位	単位	単位	
	2	64	36	28		短期大学士(英語学)

(6) 学習環境に関する情報

(2024 年 5 月 1 日現在)

大学等	キャンパス	学部・研究科	所在地	主な交通手段	
関西外国語大学	中宮 キャンパス (含、片鉾)	外国語学部 英語キャリア学部 国際共生学部	大阪府枚方市 中宮東之町 16 番 1 号	京阪電鉄枚方市駅から バスで 8 分	
		大学院 外国語学研究科	大阪府枚方市 中宮東之町 16 番 1 号	京阪電鉄枚方市駅から バスで 8 分	
		【 キャンパスの概要 】			
		① 校地面積：243,196.91 m ² 、校舎面積：124,078.33 m ² ② 本館、谷本記念講堂、図書館学術情報センター、国際交流セン ター、教室棟 1～2 号館・7 号館、厚生北館、厚生南館、第 2～4 国際 交流セミナーハウス、I C C			
	【 運動施設の概要 】				
	① 運動場面積：61,827.64 m ² (第 1～3 グラウンド他) 10,137.44 m ² (陸上競技場) ② 中宮体育館・クラブ館、第 1～3 グラウンド、陸上競技場、 片鉾総合体育館、中宮テニスコート、片鉾テニスコート、 アーチェリー場				
	【 課外活動の状況 】 (2024 年 3 月 31 日現在) クラブ数：体育系 28、文化系 28、独立団体 2 の計 58 団体。 サークル数は体育系 15、文化系 10 の計 25 団体。 英語研究会(E.S.S.)や通訳がイデクラブ(I.G.C.)などの語学系クラブをはじめ、ボランティ ア団体の活動も活発。年間行事として、学生自治組織(学生会本部等)主催による各イベ ントも多く開催された。				
	御殿山キャン パス・グロー バルタウン	英語国際学部	大阪府枚方市 御殿山南町 6 番 1 号	京阪電鉄枚方市駅から バスで 5 分	
		【 キャンパスの概要 】			
	学研都市 キャンパス (閉鎖中)	御殿山キャンパス・グ ローバルタウンに英 語国際学部を移転		大阪府枚方市 穂谷 1 丁目 10 番 1 号	JR 学研都市線津田駅から バスで 15 分
【 キャンパスの概要 】					
① 校地面積：121,286.87 m ² 、校舎面積：39,204.23 m ² ② 本部棟、図書館学術情報センター、A 教室棟、C 教室棟、研究室 棟、厚生棟、コミュニティーセンター、講堂、第 1、2 国際交流セ ミナーハウス					
【 運動施設の概要 】					
① 運動場面積：22,673.03 m ² ②体育館、テニスコート					

関西外国語大学 短期大学部	中宮 キャンパス (含、片鉾)	英米語学科	大阪府枚方市 中宮東之町 16 番 1 号	京阪電鉄枚方市駅からバス で 8 分
		【 キャンパスの概要 】 関西外国語大学・中宮キャンパスと同様		
		【 運動施設の概要 】 関西外国語大学・中宮キャンパスと同様		
	【 課外活動の状況 】 関西外国語大学・中宮キャンパスと同様（2024 年 3 月 31 日現在）			



(7) 学生納付金に関する情報

(2024 年 4 月)

区 分	入学金 ※	授業料 (年額)	教育充実費 (年額)
学部学生	250,000 円	800,000 円	350,000 円
大学院学生	250,000 円	500,000 円	150,000 円
短期大学部学生	250,000 円	770,000 円	300,000 円

※ 本学学部から本学大学院博士前期課程に入学する者の入学金は 150,000 円。

※ 本学短期大学部からの 3 年次編入学学生の入学金は 150,000 円。

※ 本学ホームページ『大学案内』→『情報公開』→『教育情報の公開』→『教育研究上の基礎的な情報_ (6) 入学料、授業料その他の大学等が徴収する費用』から閲覧することができます。

<https://www.kansaiaidai.ac.jp/admissions/topics/tuition/>

(8) 学生支援と奨学金に関する情報

本学では、学生の修学支援を行うため、支援組織および本学独自の奨学金制度を整備し、学生の修学支援を行っている。

< 学生支援組織 >

	組 織 名	機 能
就職・進学支援	キャリアセンター	学生の就職（進路）指導および支援、求人検索ナビ、就職情報提供、各種就職セミナー・説明会開催、企業情報収集など
修学・履修支援	教務部	教育課程、履修指導の支援、入学・休学・留学・退学・卒業等の学生の身分、試験および成績、教務関係諸証明など
	国際交流部	留学に関する相談、留学派遣、留学生の受入支援、留学中の学生の相談、セミナーハウスの使用管理など
	図書館学術情報センター	教育等に必要の学術情報の提供、ラーニングコモンズ運営他
	教職教育センター	本学の教職課程履修者を中心に教員養成に関わる支援
学生・経済支援、保健・衛生・メンタル等	学生部	学生の生活指導、課外活動、学生相談、学生関係諸証明、学内施設の使用運営、学生マンションの紹介、学費の延納・分納、各種奨学金の取扱いなど
	学生相談室	専門の職員を配し、カウンセラーや心理学担当の教員を委嘱し、精神的ケアを含めた学生生活全般にわたる支援など
	庶務部	学内警備、災害防止、学内整備、学生納付金の収納など



< 奨学金 >

① 関西外大独自の奨学金

奨学金名	種類	支給内容・要件
関西外国語大学 グローバル人材育成特待生奨学金	給付	年間授業料の全額 学業・人物ともに優れ、入学試験の成績が上位の者
関西外国語大学 谷本入学時支援奨学金	給付	入学金・授業料等（春学期授業料、春学期教育充実費）の半額 優秀な成績で合格し、入学時の費用を減免する支援が必要と認定される者
関西外国語大学 同窓会奨学金	給付	年間 36 万円 学業・人物ともに優れ、経済的な理由で修学が困難な者
関西外国語大学 谷本学業継続緊急支援奨学金	給付	年間授業料・教育充実費の半額 学業・人物ともに優れ、家計の著しい急変などにより教育上経済的な支援が必要と認められる者
関西外国語大学 スポーツ活動振興奨学金	減免	選考要領に基づき競技実績に応じて給付 特技 S 方式・A 方式により選抜された新入生で、高等学校等で卓越した競技実績のある者等
関西外国語大学 課外活動支援奨学金	給付	必要経費の一部または全部 対外試合において本学の名誉を高めた者あるいは団体
関西外国語大学 谷本国際交流奨学金	給付 減免	フルスカラーシップ（留学先大学授業料・住居費・食費） スカラシップ（留学先大学授業料） 成績優秀な本学派遣留学生で選考試験合格者 学内成績などの基準を満たした短期留学参加の学生
関西外国語大学 荒川化学・戸毛敏美奨学金	給付	年間 20 万円 学業・人物ともに優れている中国語履修者で経済的困窮者
英語国際学部 アジア諸国国際学生奨学金	給付	年間授業料の半額相当額 アジア諸国の提携校からの推薦を受け、学業成績、人物ともに優れ、学業を奨励するに足りる者
大学院 アジア諸国国際学生奨学金	給付	年間授業料の半額相当額 アジア諸国の提携校からの推薦を受け、学業成績、人物ともに優れ、学業を奨励するに足りる者
大学院 谷本高度専門職業人育成奨学金	給付	本学の入学金、入学年度の授業料、教育充実費の半額 経済的支援を必要とする別に定める家計基準を満たす者
関西外国語大学 谷本災害給付奨学金	減免	災害の内容により入学金、授業料を減免 本学が奨学金の適用を指定する災害において、経済的理由により修学に困難があると認められる者

② 独立行政法人 日本学生支援機構（貸与・給与）

< 給付について >

2020 年 4 月から始まった「高等教育修学支援新制度」の一環として返還不要の給付型奨学金があり、対象者は授業料等の減免を受けることができる。

< 貸与について >

第一種奨学金（無利子）、第二種奨学金（有利子）の 2 種類あり。
（詳細は「日本学生支援機構」のホームページを参照）

③ その他奨学金

地方公共団体、民間の育英団体による各種奨学金のうち、本学に推薦依頼があるものを取扱っている。

※ 本学ホームページ『学生生活』→『奨学金・教育ローン』から閲覧することができます。

<https://www.kansaigaidai.ac.jp/campuslife/scholarship/detail/>

3. 管理運営の概要

【ガバナンス改革】

(1) 『 理事会 』

本学の基本的な方針や施策を決定する最高議決機関である。

その構成は理事長を含む理事 7～8 名。理事会はほぼ毎月開催し、活発に意見交換が行われた。理事会は、事業計画、予算・決算、校舎移転等の管理運営上の重要案件については、必ず評議員会に趣旨を十分説明し意見を聴取した上、理事会として意思決定している。

2020 年 4 月 1 日より、善管注意義務、法人・第三者への損害賠償責任、学校法人から役員等に対する特別の利益供与禁止等、理事の責任が明確化された。

(2) 『 評議員会 』

理事長は、予算、借入金、基本財産の処分、事業計画、寄附行為の変更、合併、目的たる事業の成功の不能による解散、その他この法人の業務に関する重要事項で理事会において必要と認めるものについて、あらかじめ評議員会の意見を聴くことにしている。

また、理事長は、決算および事業の実績を評議員会に報告し、その意見を求めている。

さらに、評議員会は、法人の業務もしくは財産の状況又は役員の業務執行の状況について、役員に対して意見を述べ、もしくはその諮問に応えることができることとしている。

2020 年 4 月 1 日より、中期的な計画、および役員報酬基準についても、あらかじめ評議員会の意見を聴くことが追加された。

(3) 『 監事 』

監事は、学校法人の管理運営を適正に行うために極めて重要な役割を果たす。本学では 2 名を置き、(a)法人の業務監査、(b)法人の財産の状況を監査、(c)法人の業務または財産の状況について、毎会計年度、監査報告書を作成し、当該会計年度終了後 2 ヶ月以内に理事会および評議員会に提出をする。また、監査の充実を図るため、常勤監事は、学内諸会議へ出席し学校法人運営の状況についての様々な情報を得ている。

理事長等から監事に対する報告は、原則月 1 回実施される監事監査日に行っている。

監事のうち少なくとも 1 名は、必ず理事会・評議員会に出席し、3 ヶ月ごとに実施される公認会計士監査にも、監事が立会い意見交換をする。

理事会と教学組織との意思疎通を図るため、定期的に教学を担当する理事からの意見聴取を行うとともに、教授会・教員連絡会議にも出席している。

2020 年 4 月 1 日より、理事の業務執行状況の監査、理事会の招集請求権、招集権、評議員会の招集権、および理事の法令違反行為等の差し止め権が付与された。

(4) ガバナンス・コード

従来個別に分かれていたガバナンス・コードを一つにまとめ、改めてガバナンス・コードを2021年度に策定。2023年度はそれを根本的に見直し実施状況を点検のうえ公開。

(5) 「私大協役員賠償責任保険」に加入

私立学校法の改正により、役員の第三者に対する損害賠償責任(私学法 44 条の 3)が規定されたことに伴い、学校法人と保険会社とが、役員を被保険者とする保険契約を締結し、役員がその職務に関し責任を負うことまたは当該責任の追及にかかる請求を受けることによって生じる損害に対して補償することが可能となり、2020 年 2 月開催理事会の決議により「私大協役員賠償責任保険」に加入した(1 年毎更新)。

- ① 団体契約者：日本私立大学協会
- ② 被保険者：(記名法人) 学校法人関西外国語大学、(個人被保険者) 理事・監事
- ③ 補償内容：役員に関する法律上の損害賠償金、争訟費用等
法人に関する法人内調査費用、第三者委員会設置・活動費用等
- ④ 支払い対象とならない場合：法律違反に起因する対象事由等
- ⑤ 保険期間中総支払限度額：5 億円

(6) 責任限度契約

私立学校法に従い、2020 年 4 月 1 日より、以下役員と責任限度契約を締結した。

- ① 対象役員：非常勤理事 2 人、監事 2 人
- ② 契約内容：非常勤理事および監事がその職務を行うにあたり善意でかつ重大な過失がない時は、金 300 万円と役員報酬の 2 年分との、いずれか高い額を責任限度とする。

(7) 大学評価

大学(短期大学部)には、「日常的な自己点検・評価をふまえた改善・向上の取り組みによって、質の向上を図り、教育・学習その他サービスが一定水準にあることを大学(短期大学部)自らの責任で説明・証明していく学内の恒常的・継続的プロセス」を意味する「内部質保証システム」の構築が求められており、2023 年度においては、「学校法人関西外国語大学内部質保証推進規程」(2020 年 10 月制定)に則り、大学および短期大学部ごとに設置される自己点検・評価委員会、ならびに学内関係者および大学評価または教育にかかる知識・経験を有する学外有識者で組織する大学評価委員会を開催し、内部質保証の充実に向けた取り組みを推進している。

また、一定期間ごとに、教育・研究、組織・運営、施設・設備等の総合的な状況について、文部科学大臣の認証を受けた認証評価機関(大学は公益財団法人大学基準協会、短期大学部は公益財団法人大学基準協会および一般財団法人大学・短期大学基準協会)の評価を受審し、「適合(または適格)」との評価を受けており、その有効期限は、いずれも 2027 年 3 月末日までとなっている。

※ 認証評価結果および自己点検・評価については、本学ホームページ『大学案内』→『情報公開』→『認証評価結果及び自己点検・評価』から閲覧することができます。
<https://www.kansaigaidai.ac.jp/info/disclosure/assessment/>

(8) 監事による監査報告

監事は、私立学校法第 37 条第 3 項に基づく監査報告を行うため、学校法人関西外国語大学の寄附行為第 14 条の規定に従い、学校法人の業務もしくは財産の状況または理事の業務執行の状況について監査を実施し、学校法人関西外国語大学の業務に関する決定および執行は適切であり、不正の行為または法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実のない旨の監査報告を行った。

(9) 情報公開

私立学校法および学校教育法の規定に則して、本学では財務情報および教育情報の公表についてホームページなどを介して情報の公表を行っている。

財務情報については、2003 年度からホームページ・The Gaidai（広報誌）に、法人の概要・事業の概要・財務の概要等を掲載し、主要項目について平易な説明を加えている。2005 年度からは閲覧用として、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録、事業報告書、監事監査報告書を開示している。また、2010 年度からは、事業報告書の内容を改定し、より分かり易いものとして公開した。

教育情報については、2007 年度から「教育情報の公開」を、本学ホームページ上に掲載し、高校生や保護者にも分かり易いよう、できるだけ平易な表現で公表している。

さらに、2020 年 4 月 1 日からは、寄附行為、役員名簿の一般閲覧・公開、および役員報酬基準の作成・閲覧・公開を実施した。

※ 財務情報については、本学ホームページ『大学案内』→『情報公開』→『財務情報』から閲覧することができます。

<https://www.kansaigaidai.ac.jp/info/disclosure/financial/>

※ 教育情報については、本学ホームページ『大学案内』→『情報公開』→『教育情報の公開』から閲覧することができます。

<https://www.kansaigaidai.ac.jp/info/disclosure/publication/>

【施設・設備整備】

(1) 谷本グリーンフィールド

中宮キャンパスの第1グラウンドと第2グラウンドが人工芝化され「谷本グリーンフィールド」として授業や部活動で使用されている。



(2) 障がい者支援設備

障がい者用トイレ（みんなのトイレ）をほとんどすべての建物に備え、これらのトイレには非常押しボタンを設置している。また、点字表示のある障がい者用エレベーターをすべての建物に配備し、車椅子での移動に備えスロープを設置しバリアフリー化し、教室や講堂にも車椅子用のスペースを設けている。さらに、車椅子用机も増設している。学生の自動車通学は厳禁しているが、障がい者用の駐車スペースを各キャンパスに設置している。

4. その他特色のある取組の概要

【教育活動にかかる取組】

(1) FD 活動（教育内容等の改善のための組織的な研修等）

本学では、授業の内容および方法の改善を図るための組織的な研修、研究を実施するためにFD委員会を設置し、当該委員会を中心にさまざまな活動を行っている。

また、これらの成果については、『FD活動年報』を年1回刊行し周知している。2023度の主な活動内容等は以下のとおり。

① 授業公開を実施

2023年度授業公開は、授業形態に対応して対面にて実施。春学期は、5月15日から6月30日までの約7週間、秋学期は、11月9日から12月23日までの約7週間に亘り実施した。

② FD講演会の開催

第12回FD講演会を2024年2月1日、対面で実施し、同時にオンライン配信（Zoom）を行った。信州大学 教育学部 准教授の三和 秀平先生が「学びのモチベーション ～やる気の質に着目して～」を演題に講演を行い、約100名の教職員が参加した。

③ 授業実践研究フォーラムの開催

FD委員会主催の第13回授業実践研究フォーラムを10月27日、対面で実施し、同時にオンライン配信（Zoom）を行った。本学の教員3名が、授業実践に関する研究発表を行った。

④ K. G. C. ベーシックス FD 研修会を実施

短期大学部の必修科目である「K. G. C. ベーシックス A～D」の担当者を対象に「K. G. C. ベーシックス FD 研修会」を実施した。2023 年度は 9 月 1 日、1 月 9 日、2 月 17 日、3 月 14 日、3 月 25 日の計 5 回実施し、毎回「K. G. C. ベーシックス」にかかるテーマを採り上げ発表・討論などを行った。

(2) 授業評価

FD 委員会が実施している授業評価は、春学期と秋学期のすべての授業科目において実施し、「授業評価集計結果・分析」およびそれに関する各教員の所見・改善点を、「本学ホームページ」上で、学内の教職員、学生に対して公開するとともに、今後の授業改善に役立てている。

【研究活動にかかる取組】

(1) 科学研究費助成事業

本学では、科学研究費小委員会を設けて、申請書作成にかかるセミナーなどの取組を実施している。2023 年度科学研究費助成事業（補助金・基金）においては、大学、短期大学部合わせて 44 件が採択された。

[科学研究費助成事業採択件数・受入金額の推移]

	大 学		短期大学部	
	採択件数	受入金額	採択件数	受入金額
2014（平 26）年度	33 件	47,450 千円	3 件	2,990 千円
2015（平 27）年度	34 件	46,930 千円	2 件	1,560 千円
2016（平 28）年度	38 件	46,300 千円	4 件	3,510 千円
2017（平 29）年度	33 件	28,730 千円	3 件	1,710 千円
2018（平 30）年度	33 件	32,500 千円	5 件	6,110 千円
2019（令元）年度	39 件	38,870 千円	5 件	4,550 千円
2020（令 2）年度	40 件	40,820 千円	7 件	7,800 千円
2021（令 3）年度	45 件	43,420 千円	5 件	3,510 千円
2022（令 4）年度	43 件	38,480 千円	4 件	2,860 千円
2023（令 5）年度	40 件	34,450 千円	4 件	2,210 千円

(2) 研究成果の公表等

教員の研究成果を公表するため、『関西外国語大学研究論集』を刊行している。

この『研究論集』も 1956 年の刊行以来、119 号を発刊するに至った。

また、本学が設置している国際文化研究所、人権教育思想研究所、イベロアメリカ研究センターにおいても、当該研究所・センターにおける研究成果を刊行物として発行するなど、本学における研究活動の成果を積極的に公表している。

[研究成果の公表媒体・発行状況]

研究所・センターなど	研究成果の公表媒体・発行状況
論集委員会	「研究論集」118号（2023.9）、119号（2024.3）
国際文化研究所	「Newsletter」14号（2024.3）
人権教育思想研究所	「人権を考える」27号（2024.3）
イberoアメリカ研究センター	「イberoアメリカ研究センター・ニュースレター」13号（2024.3）

【SD活動】（職員の資質向上・職能開発にかかる活動）

本学では、教職員が一体となって教育研究活動の適切かつ効果的な運営を図るため、スタッフ・ディベロップメント（SD）委員会が主体となり、組織的・体系的な研修その他必要な取組を企画することにより、教職員に求められる知識・技能の育成および向上に取り組んでいる。

教職協働を促進するための関西外国語大学 SD 体系にもとづき、2023 年度に実施した主な取組は以下のとおりである。

(1) テーマ別研修（教職員）

SD 実施に関する方針に掲げる大学運営、教育研究活動、大学業務等に関する特定のテーマを取り上げ、学内講師によるテーマ別研修を行った。研修は教職員の参加機会を確保すべく、対面に加えて ZOOM による動画配信等の受講形態で実施した。

＜入試部主催＞（2 月 27 日）『競争戦略としての大学マーケティング』[参加者 119 人]

他大学の事例等を交え、本学の入試制度と学生募集における現状・課題を学習し、大学経営に関する危機意識や今後の取組方針等の共有を行った。

(2) 昇任者研修（職員）

大学を取り巻く高等教育政策や管理職（階層別）に求められる役割への意識向上と行政能力の強化を目的に、対象職員への研修を 2 日間のシリーズで実施した。

＜1 日目：昇任者研修①＞（6 月 7 日）[参加者（昇任職員）13 人]

高等教育分野に精通した教員を講師に迎え、階層別向け学習を行ったほか、昇任者を 3 グループに分け、高等教育の各テーマ（学修成果の可視化／学修者本位の教育／地域・社会連携）にもとづきグループワークを実施した。

＜2 日目：昇任者研修②＞（7 月 12 日）『昇任職員による「研修成果発表（SD）」』[参加者 91 人]

研修①での考察を経て、グループごとに本学の現状や課題、その他解決に向けた方策等についてプレゼンテーション形式で成果発表を行った。発表を傾聴したその他教職員は、発表を通じて本学の今後の教育研究活動・支援の在り方等について理解を深めた。

(3) 若手職員育成研修（職員）

＜内定者研修＞[参加者（新卒内定者）3 人]

内定から入職までの期間に、本学に関する知識や職員に求められる高等教育の基礎知識等に関する理解を深め、入職後の円滑な教育研究支援開始が可能となるよう研修を実施した。

- ① レポート課題 2 回（第 1 回：10 月 27 日締切、第 2 回：1 月 31 日締切）
- ② 内定者対面研修 2 回（第 1 回：11 月 6 日、第 2 回：3 月 13 日）
- ③ オンデマンド研修 1 回（内定者向け：11 月 24 日～12 月 23 日）

＜若手育成研修（入職 3 年目まで）＞

〔参加者 10 人（入職 1 年目 2 人、入職 2 年目 6 人、入職 3 年目 2 人）〕

社会人としての自覚を促し、仕事に対する姿勢や業務の進め方、大学職員の基礎知識、コミュニケーションの取り方等を体系的に習得するための研修を実施した。

- ① 初任者研修（入職 1 年目向け：5 月 17 日）
- ② 若手職員の成長に合わせた目標設定の促し等を行う人事フォロー面談 2 回
（第 1 回：10 月、第 2 回：3 月）
- ③ オンデマンド研修〔新人職員向け（入職 1 年目）：5 月 17 日～6 月 30 日、若手職員向け（入職 2 年目）：10 月 25 日～12 月 15 日〕

(4) 職員向け SD 授業参観（職員）〔参加者 110 人〕

職員が本学の授業（学生の修学状況含む）を参観できる機会を提供することで、職員自らが教育研究活動に関する知見を高め、各部署が取り組む課題や教育・学生支援に通ずる幅広い知識を獲得すること等を目的に、SD 授業参観制度を新たに構築し、9 月より運用を開始した。参観対象教員の協力を得ながら、秋学期に延べ 152 件の授業参観を実施した。

〔参観期間：10 月 9 日～12 月 23 日、対象授業：13 科目（担当教員 10 人）〕

(5) オンデマンド研修（教職員）〔利用者 154 人〕

大学マネジメント機能（大学ガバナンス・意思決定プロセス、大学評価システム・質保証、教学マネジメント、学生支援・キャリア支援、国際交流、学生確保など）に関する理解を深めるため、地理的・時間的制約を克服可能なオンデマンド学習ツール「e-JINZAI for university」を積極的に活用し、教職員の自己啓発を促す研修の一環として、複数の研修を組織的・体系的に実施・案内した。

- ① ハラスメント研修（主に本年度入職の教職員を対象）
「管理職が覚えておきたい職場のハラスメント」、「職場のハラスメントの基本知識」
- ② 高等教育基礎研修「2022 年度版 最新高等教育政策のポイント」（9 月 11 日～11 月 30 日）

(6) 研究倫理観養成（教員）

年度初めにあたる 4 月 19 日・20 日開催の教員連絡会議において、研究倫理観の養成を目的として、専任・特任教員を対象に「研究に対する基本方針」、「競争的資金等の使用に関する行動規範」、「研究活動上の不正行為防止」、「教員研究室・教室使用の留意点」について研修を行った。

(7) その他取組

SD 委員会・人事部が開催する各研修イベント以外にも、SD の一環として組織的・体系的な取組をその都度案内した。

- ① 自校教育研修 ＜短期大学部授業＞（4 月 26 日）

- ② 新任教職員対象 人権問題研修会 <人権教育思想研究所主催> (5月16日、5月17日)
- ③ 個人情報保護・情報セキュリティ研修会 <個人情報保護委員会・情報セキュリティ委員会主催> (配信：11月13日～12月23日)
- ④ FD講演会 <FD委員会主催・SD共催> (2月1日)『学びのモチベーション～やる気の質に着目して～』[講師：三和 秀平准教授(信州大学 教育学部)]
- ⑤ 職員海外研修 <On the Job Development> NAFSA 年次総会 (5月28日～6月4日)、EAIE 年次総会 (9月24日～10月1日)、中国協定大学訪問等 (9月21日～9月26日)、ダブル・ディグリー留学派遣先重点校訪問等 (9月23日～10月4日)
- ⑥ その他外部団体(大学関係・協会等)が主催する研修出張、セミナーへの戦略的参画

【社会貢献・連携活動にかかる取組】

(1) 公開講座等

① 国際文化研究所 (IRI)

「公開講座」については、2023年10月3日、17日に、昨年度大変好評であった質問歓迎型講演「どうなる日本・世界の経済・政治・社会」滝川好夫氏(関西外国語大学)第2弾を実施し、2024年2月22日には「“ブッダ”を体感する；古代インドの言語に触れる」野村亨氏(慶応義塾大学名誉教授)を実施した。また、「IRI 言語・文化コロキウム」(公開講座)として2024年1月27日に「日本語と他言語の対照研究ーこれまでとこれからー」というテーマで学術シンポジウムを開催し、竹沢幸一氏(関西外国語大学)、野田尚史氏(日本大学)、井上優氏(日本大学)、堀江薫氏(関西外国語大学)の発表を中心に、興味深い議論が展開された。

② イベロアメリカ研究センター

2023年秋の連続公開講座は「メキシコ先住民のリアルー独立から現代に至る抵抗の200年ー」を開催し、小林致広氏(神戸市外国語大学/京都大学)、初谷譲次氏(天理大学)、柴田修子氏(同志社大学)を招き行った。6月に映像翻訳者として活躍する本学スペイン語学科出身の林かんな氏による講演を開催した。同月に梶田純子氏(関西外国語大学)によりスペイン・バスクの基礎知識とバスク社会についての公開講座を開催した。スペインの研究者によりオンラインでスペイン語教授法研究会を7月に開催した。

③ 吹奏楽部 演奏会

吹奏楽部のサマーコンサートを7月8日に、第46回定期演奏会を12月10日に、中宮キャンパスの谷本記念講堂で開催した。社会貢献、地域連携の一環として、観客に元気溢れる演奏を届け、多くの観客を魅了した。

(2) 地域社会および産官学間の連携活動

① 学園都市ひらかた推進協議会への協力

枚方市と市内5大学は「学園都市ひらかた推進協議会」として諸事業を実施している。事業としては、こども大学探検隊、ひらかた市民大学、大学生のインターンシップ実習等を実施。

また、枚方市が2025年の大阪・関西万博の開催を契機に、まちの魅力向上と地域経済の活性化をめざし取り組んでいる「ひらかた万博」にも参加。

② 本学留学生の国際交流活動

枚方市教育委員会と共同開催の「枚方英語村」は、地域小中学生と本学留学生との交流イベントで、地域に密着した取り組みとなった。

③ 本学学生の地域貢献

枚方市が実施している「枚方子どもいきいき広場事業」の一環で、教員職をめざす本学学生が地域の小学生に英語を教える「いきいき英語活動」を行った。

④ 女子駅伝部 枚方市内小学校 2 校との交流事業

女子駅伝部が枚方市内の小学生と交流。体育授業の持久走で一緒にランニングをしながらのアドバイスや、走り方のコツに関するミニ講義を実施。

⑤ こども大学探検隊

2023 年 10 月、枚方市内の小学生が「探検隊」となって大学へ出向いて、英語を使ったアクティビティやキャンパスライフを体験することができる「こども大学探検隊」を実施。

⑥ ひらかた市民大学

2023 年 11 月、I C C ホールにおいて、本学教員による講座を市民の皆様を提供。「生成 A I は人間のあり方をどのように変えるのか？」をテーマに、事例を紹介しながら講演。

⑦ 京都府との就職支援協定の締結

低年次からのキャリア教育促進のほか、京都府内の企業への就職促進等に向け、本学と京都府は 2023 年 7 月 21 日に就職支援協定を締結した。第 1 回目の連携イベントとして、「世界と仕事する京都企業・トークセッション&社員との交流会」を 10 月 27 日に開催。京都に本社を構えるグローバル企業 4 社を招き、本学学生約 40 人が参加した。

⑧ MGM RESORTS ジャパンが提供する観光産業・ホスピタリティを学ぶプログラム

2024 年 2 月 6 日～9 日の日程で、MGM リゾーツ・インターナショナルが総合型リゾート施設 (IR) で活躍する次世代のリーダーを育成するプログラム「MGM IR Hospitality Learning Program」を開催し、本学学生 6 人が参加した。



Ⅲ. 財務の概要

1. 財産目録

(単位：百万円)

科 目	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
一 資産					
(一) 基本財産	99,158	97,202	95,548	93,560	92,175
(1) 校地	(414,920.76 ㎡) 45,197	(414,740.78 ㎡) 45,191	(414,740.78 ㎡) 45,191	(414,740.78 ㎡) 45,191	(414,740.78 ㎡) 45,191
(2) 校舎	(217,753.52 ㎡) 46,384	(217,753.52 ㎡) 44,914	(217,753.52 ㎡) 43,540	(217,753.52 ㎡) 41,997	(215,941.05 ㎡) 40,671
(3) 構築物	(678 点) 2,927	(687 点) 2,658	(692 点) 2,370	(694 点) 2,076	(700 点) 2,061
(4) 図書	(580,737 冊) 2,602	(576,824 冊) 2,558	(584,607 冊) 2,625	(586,929 冊) 2,639	(588,486 冊) 2,648
(5) 教具・校具・備品	(34,600 点) 1,634	(34,973 点) 1,516	(34,964 点) 1,434	(35,289 点) 1,206	(35,164 点) 1,195
(6) 建設仮勘定	37	0	0	0	0
(7) その他の基本財産	377	365	388	451	409
(二) 運用財産	125,428	132,069	139,457	146,065	152,111
(1) 預金現金	27,232	28,179	29,509	30,553	31,018
(2) 積立金	98,006	103,677	109,626	115,250	120,918
(3) その他の運用財産	190	213	322	262	175
資産総額	224,587	229,271	235,005	239,625	244,286
二 負債					
(1) 固定負債	946	964	965	980	1,000
① 長期借入金	0	0	0	0	0
② 退職給与引当金	946	964	965	980	1,000
(2) 流動負債	9,345	9,364	9,045	8,941	9,105
① 短期借入金	0	0	0	0	0
② 前受金	8,556	8,696	8,425	8,186	8,301
③ その他の流動負債	789	668	620	755	804
負債総額	10,291	10,328	10,010	9,921	10,105
正味財産 (資産総額－負債総額)	214,295	218,942	224,995	229,704	234,181

2. 貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部					
科 目	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
固定資産	197,180	200,893	205,190	208,822	213,104
有形固定資産	98,782	96,837	95,160	93,109	91,766
土地	45,197	45,191	45,191	45,191	45,191
建物	46,384	44,914	43,540	41,997	40,671
構築物	2,927	2,658	2,370	2,076	2,061
教育研究用機器備品	1,133	1,062	1,010	833	817
その他の有形固定資産	3,140	3,011	3,049	3,012	3,026
特定資産	98,006	103,677	109,626	115,250	120,918
第2号基本金引当特定資産	30,417	33,917	38,917	43,917	48,917
第3号基本金引当特定資産	46,133	48,285	49,059	49,668	50,316
第4号基本金引当特定資産	661	661	835	835	835
減価償却引当特定資産	19,850	19,850	19,850	19,850	19,850
その他特定資産	946	964	965	980	1,000
その他の固定資産	392	380	404	463	420
ソフトウェア	240	353	376	439	398
その他固定資産	152	27	28	24	22
流動資産	27,407	28,378	29,815	30,803	31,182
資産の部合計	224,587	229,271	235,005	239,625	244,286
負債の部					
科 目	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
固定負債	946	964	965	980	1,000
長期借入金	0	0	0	0	0
退職給与引当金	946	964	965	980	1,000
流動負債	9,345	9,364	9,045	8,941	9,105
前受金	8,556	8,697	8,425	8,186	8,301
その他の流動負債	789	668	620	755	804
負債の部合計	10,291	10,328	10,010	9,921	10,105

純資産の部					
科 目	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
基本金	213,143	218,886	224,785	230,693	236,782
第 1 号基本金	135,933	136,024	135,974	136,273	136,714
第 2 号基本金	30,417	33,917	38,917	43,917	48,917
第 3 号基本金	46,133	48,285	49,059	49,668	50,316
第 4 号基本金	661	661	835	835	835
繰越収支差額	1,152	56	210	△989	△2,601
翌年度繰越収支差額	1,152	56	210	△989	△2,601
純資産の部合計	214,295	218,942	224,995	229,704	234,181
負債及び純資産の部合計	224,587	229,271	235,005	239,625	244,286

○ 解説

- ① 2023 年度の資産の部合計は 2,442 億 86 百万円で、前年度末に比べて 46 億 61 百万円の増加。
これは主として、現金預金および特定資産（第 2、第 3 号基本金）の増加によるものである。
- ② 2023 年度の負債の部合計は 101 億 5 百万円で、前年度末に比べて 1 億 84 百万円の増加。
- ③ 2023 年度の基本金の部合計は 2,367 億 82 百万円で、前年度末比 60 億 89 百万円の増加。内訳は、第 1 号基本金が 4 億 41 百万円、第 2 号基本金が 50 億円、第 3 号基本金が 6 億 48 百万円それぞれ増加した。
- ④ 2023 年度末の減価償却累計額は 445 億 38 百万円である。

3. 収支計算書

(1) 資金収支計算書

(単位：百万円)

収入の部					
科 目	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
学生生徒等納付金収入	14,283	14,326	14,354	14,012	13,761
手数料収入	489	408	338	319	319
寄付金収入	32	22	27	26	27
補助金収入	703	1,485	1,842	1,756	1,780
資産売却収入	1	11	0	3	2
付随事業・収益事業収入	1	0	1	0	0
受取利息・配当金収入	710	768	845	804	942
雑収入	442	251	331	467	376
借入金収入	0	0	0	0	0
前受金収入	8,556	8,696	8,425	8,186	8,301
その他の収入	685	594	594	814	766
資金収入調整勘定	△8,613	△8,657	△8,885	△8,606	△8,267
前年度繰越支払資金	25,408	27,232	28,179	29,509	30,553
収入の部計	42,697	45,136	46,051	47,292	48,560
支出の部					
科 目	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
人件費支出	4,423	4,426	4,622	4,650	4,486
教育研究経費支出	2,765	4,310	3,482	4,085	4,156
管理経費支出	1,417	1,431	1,270	1,519	1,575
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	124	151	257	95	692
設備関係支出	448	330	400	324	418
資産運用支出	5,675	5,671	5,949	5,624	5,668
その他の支出	865	885	786	688	836
資金支出調整勘定	△253	△247	△224	△246	△289
次年度繰越支払資金	27,232	28,179	29,509	30,553	31,018
支出の部合計	42,697	45,136	46,051	47,292	48,560

○ 解説

- ① 2023 年度の収入の部の合計額は、485 億 60 百万円（予算比 2 億 12 百万円増）となった。
- ② 2023 年度の主な収入は、学生生徒等納付金収入 137 億 61 百万円（予算比 2 億 19 百万円減）、手数料収入 3 億 19 百万円（同 31 百万円減）、寄付金収入 27 百万円（同 2 百万円増）、補助金収入 17 億 80 百万円（同 1 億 80 百万円増）、受取利息・配当金収入 9 億 42 百万円（同 1 億 92 百万円増）、雑収入 3 億 76 百万円（同 81 百万円増）、前受金収入 83 億 1 百万円（同 99 百万円減）、その他収入 7 億 66 百万円（同 85 百万円増）となった。
- ③ 2023 年度の主な支出は、人件費支出 44 億 86 百万円（予算比 84 百万円減）、教育研究経費支出 41 億 56 百万円（同 3 億 44 百万円減）、管理経費支出 15 億 75 百万円（同 75 百万円減）、施設関係支出 6 億 92 百万円（同 6 億 8 百万円減）、設備関係支出 4 億 18 百万円（同 1 億 52 百万円減）、資産運用支出 56 億 68 百万円（同 1 億 48 百万円増）、その他の支出 8 億 36 百万円（予算比 18 百万円減）となった。

(2) 事業活動収支計算書

(単位：百万円)

大項目	科 目	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
教育活動 収支	学生生徒等納付金	14,283	14,326	14,354	14,012	13,761
	手 数 料	489	408	338	319	319
	寄 付 金	32	22	27	26	27
	経 常 費 等 補 助 金	703	1,472	1,827	1,756	1,780
	付 随 事 業 収 入	1	0	1	0	0
	雑 収 入	442	251	331	467	376
	教育活動収入計	15,950	16,479	16,878	16,581	16,263
	人 件 費	4,440	4,445	4,623	4,665	4,506
	教 育 研 究 経 費	4,343	5,963	5,128	5,731	5,756
	管 理 経 費	2,228	2,185	2,015	2,292	2,362
	教育活動支出計	11,012	12,592	11,766	12,688	12,624
	教育活動収支差額	4,938	3,886	5,112	3,892	3,639
教育活動 外収支	教育活動外収入計	710	768	845	804	942
	教育活動外支出計	0	0	0	0	0
	教育活動外収支差額	710	768	845	804	942
経 常 収 支 差 額		5,707	5,402	4,016	5,648	4,581
特別収支	特 別 収 入 計	35	63	103	28	23
	特 別 支 出 計	52	70	7	15	127
	特 別 収 支 差 額	△17	△7	96	13	△104
	(予 備 費)	0	0	0	0	0
	基本金組入前当年度収支差額	5,631	4,647	6,053	4,709	4,477
	基本金組入額合計	△6,188	△5,743	△5,948	△5,908	△6,089
	当 年 度 収 支 差 額	△557	△1,096	105	△1,199	△1,612
	前年度繰越収支差額	1,709	1,152	56	210	△989
	基 本 金 取 崩 額	0	0	49	0	0
	翌年度繰越収支差額	1,152	56	210	△989	△2,601

(参考)

	事 業 活 動 収 入 計	16,695	17,309	17,826	17,413	17,228
	事 業 活 動 支 出 計	11,064	12,662	11,773	12,704	12,751

○ 解説

- ① 2023 年度の教育活動収入合計は 162 億 63 百万円（予算比 13 百万円増）、教育活動支出合計は 126 億 24 百万円（同 5 億 86 百万円減）で、教育活動収支差額は 36 億 39 百万円（同 5 億 99 百万円増）、経常収支差額は 45 億 81 百万円（同 7 億 91 百万円増）となった。
- ② 2023 年度の事業活動収入合計は 172 億 28 百万円（予算比 1 億 83 百万円増）、事業活動支出合計は 127 億 51 百万円（同 7 億 99 百万円減）となった。

4. 財務比率の推移

(単位：％)

比率名	算 式	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	33.9	26.9	33.6	27.0	26.6
教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入}}$	31.0	23.6	30.3	23.5	22.3
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	85.7	83.1	81.0	80.6	79.9
人件費比率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{経常収入}}$	26.7	25.8	26.1	26.8	26.1
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	26.1	34.6	28.9	33.0	33.4
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	13.4	12.7	11.4	13.2	13.7
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	293.3	303.0	329.6	344.5	342.4
負債比率	$\frac{\text{総 負 債}}{\text{自己資金 ※2}}$	4.8	4.6	4.5	4.3	4.2
自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総 資 金 ※3}}$	95.4	95.6	95.7	95.9	95.8
基本金比率	$\frac{\text{基 本 金}}{\text{基本金要組入額}}$	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※1 経常収入＝教育活動収入＋教育活動外収入

※2 自己資金＝基本金＋当年度収支差額

※3 総 資 金＝負債＋基本金＋当年度収支差額

○ まとめ

18 歳人口の減少が私学経営に与える影響は大きく、本学も将来を見据え、2023 年度に新学部である国際共生学部と、外国語学部英語・デジタルコミュニケーション学科を開設。さらに 2024 年度には、外国語学部国際日本学科、短期大学部に未来キャリア英語学科を新設予定。学生の夢と希望を育む大学として、教学面および教育環境のさらなる整備・充実を図り、健全な財政運営を継続していく方針である。

○ 監事監査報告書

私立学校法第 37 条第 3 項第 4 号により作成された「監査報告書」は、ホームページに掲載している。

※ 『大学案内』→『情報公開』→『財務情報』→『監事監査報告書』から閲覧することができます。

<https://www.kansaigaidai.ac.jp/info/disclosure/financial/>

[参考] 学部・学科等の入学定員、学生数の状況

(2024年5月1日現在)

				入学定員	3 年 次 編入定員	収容定員 (a)	在籍者数 (b)	収容 定員比 (b/a)
大 学	大学院外国語学 研究科	博 士 前 期 課 程	英 語 学 専 攻	15	—	30	9	0.30
			言語文化専攻	20	—	40	27	0.67
		博 士 後 期 課 程	英 語 学 専 攻	3	—	9	2	0.22
			言語文化専攻	3	—	9	4	0.44
		大学院 計			41	—	88	42
	外国語学部	英 米 語 学 科		730	200	4,435	4,732	1.06
		スペイン語学科		250	20	1,045	1,049	1.00
		英語・デジタルコミュニケーション学科		200	—	400	444	1.11
		国際日本学科		200	—	200	220	1.10
		計		1,380	220	6,080	6,445	1.06
	英語国際学部 英語国際学科			700	75	2,975	3,137	1.05
	英語 キャリア 学部	英語キャリア学科		120	—	480	502	1.04
		英語キャリア学科 小学校教員コース		50	—	160	129	0.80
		計		170	—	640	631	0.98
	国際共生学部 国際共生学科			70	30	200	167	0.83
	学 部 計			2,320	325	9,895	10,380	1.04
	大 学 合 計			2,361	325	9,983	10,422	1.04
	留 学 生 別 科			400	—	400	437	1.09
短期 大学部	英 米 語 学 科		550	—	1,350	1,011	0.74	
	未来キャリア英語学科		150		150	106	0.70	
	短 大 合 計		700	—	1,500	1,117	0.74	
総 合 計				3,461	325	11,883	11,976	1.00

以上

学校法人関西外国語大学

中宮キャンパス

〒573-1001

大阪府枚方市中宮東之町 16-1

電話 072-805-2801

<https://www.kansaigaidai.ac.jp>

御殿山キャンパス・グローバルタウン

〒573-1008

大阪府枚方市御殿山南町 6-1

電話 072-805-2701

<https://www.kansaigaidai.ac.jp>